てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
49
山本サトシ
日下秀憲
©2014 Pokémon
©1995-2014 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

POCKET MONSTERS

49

SPECIAL

• Art •

Satoshi Yamamoto

• Story •

Hidenori Kusaka

このお話は――

権威ある研究者より「ポケモン図鑑」を託された少年・少女～図鑑所有者たち～がポケモンと共にすごし、戦い、成長する物語である――!!!!

& WHITE

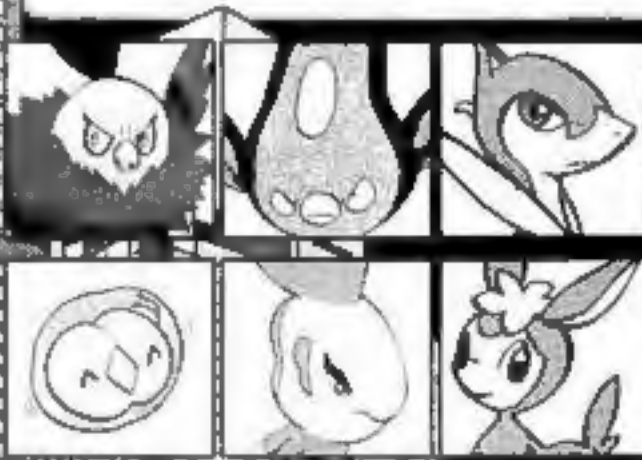
いつかの時代、どこかの場所。

ポケモンリーグ優勝を夢見るトレーナー・ブラックが、アララギ博士から「ポケモン図鑑」とポカブを受け取り旅立った！

道中で出会ったホワイトと旅をしていたブラックだったが、プラズマ団の王・Nの出現によりバトルサブウェイ乗車を決めたホワイトと別れ、再びひとり旅に。

その中で、プラズマ団の計画を止めるためジムリーダーたちが実行した総力戦に参加するが、ダークストーンもジムリーダーたちも奪われてしまう。

打倒プラズマ団を誓い、ハチクの修業を受けるブラック。修業の最後はハチクとのジム戦だ!!

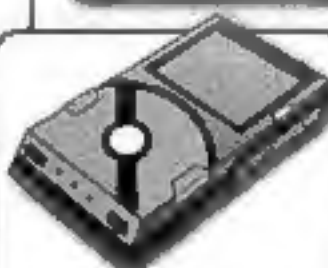
ホワイト

ポケモン芸能事務所「BWエージェンシー」の社長。一流のポケモンタレントを育てることが夢。仕事に対する責任感が強く、「タレント」のためならどんな苦労もいとわない。

シャガ

ソウリュウシティの市長でジムリーダー。ドラゴンタイプの使い手。

ハチク

セッカシティジムのジムリーダー。常に寡黙で冷静沈着な人物。

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
10
BLACK
舞台～イッシュ地方～
近代的な発展をとげた、巨大な地方。いくつもの橋で結ばれた数かずの街がある。中央には摩天楼がそびえ立つヒウンシティがあり、地方全体のシンボルにもなっている。
ブラック
ポケモンリーグ優勝を目指すトレーナー。先々までよく調べ、準備する計画性と、心に火がつくと止まらない熱血性を併せ持つ。また、目で見た情報を頭の中で組み立て、真実を見つけ出す"推理タイム"を特技とする。
N
プラズマ団の王。「理想」のためにゼクロムを復活させたが…?
レンブ
四天王のひとりで、アデクの弟子。礼儀を重んじるまじめな性格。
アデク
イッシュ地方のチャンピオン。ふだんは武者修行の旅をしている。
アイリス
ドラゴンタイプを極めるため、シャガのもとで修業をしていた、活発な少女。

POCKET MONSTERS SPECIAL 49

もくじ

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#504
VSバニリッチ
VANIRICH
「気配」
けはい

じャリ…

王…!!
騒いではなりません。
手出しもなりません。
これは王とゼクロムが、
トモダチとなるために必要な手つづき。
それをなしえる者こそ、
英雄になれるのです。
ふつうのトレーナーなら「わが僕となれ」と命じるところ…。
ポケモンの解放を真に願うからこその尊い行いです。
ねえ、ゼクロム…。
キミは見たくないかい?

すべてのトレーナーがポケモンを解放する。ヒトとポケモンが対等の関係になる。
望まない生き方を強いられ悲しみ苦しむポケモンのいない…。
そんな世界なら自らを石に封じこめなくても生きていけるんじゃないか？

ボクはそんな世界、そんな未来を見たい。築きたい。
そのためには、だれにも負けない存在にならなきゃいけない。チャンピオンだって超えなきゃいけないんだ。

ゼクロム、キミもボクとトモダチになって、
いっしょに世界を変えよう。

かつて…、
じゃ…
世界を導いた…、
英雄のように…。

セッカシム
ぬおおおお!!
ドッ
ととと。
らあああああ!!

でもよ。今は、
戦うよりは「聞きたい」って気持ちのほうが強いぜ。
聞きたい？なにを？
それは
ハチクさんのとこに行ってからだ。
行くぞ、ブオウ、ムシャ、ゴーラ！
いよいよジム戦だぜ!!
だ!!
ッ!!

来たな。
形式は3対3の入れかえ戦!
それではバトル、
スタート!!
ジャララ…
ジャララ
ジャララ

ええ！
氷のクサリの軌道を
読んできましたね！

す すごい！
フリージオは
姿が消えてたのに！

ス…

ゴトッ
フリージオ
戦闘不能!!

フリージオの位置もわかってた!
それが「慣れ」というものですよ。
「勝負カン」といってもいい。

第1から第4までの修業の成果がしっかり出ていますね。
エンブオーも格闘戦士としてめざめています。

ハチクさんの残りはツンベアーとバニリッチ、
対するブラックくんは無傷で3匹!

今のところ優勢なのはブラック・
なのに

あの浮かない表情・
ハチクさんに聞きたいことをそんなに気にかけている?

バニリッチ。
はっ!!
ドガン!!
いててて!!
お、あられか!!

バニリッチの姿まで見えなくなりやがった！
みずから作り出す細い氷の粒で、
姿を消す…か！
フリージオといい目くらましの作戦ばかりだぜ！
ブオウ！もろはのずつき！

消えた相手に
正確にヒット！
エンブオーの読みは
ますます冴えてる！
理想的な
成長ぐあいですね！

へへ…。
理想か、

そんなこと
言ってる人が
橋の上にもいたな。

「理想」に
対抗する
「真実」となって
くれることを
期待してる、
とかなんとか…。
ってな。

……。
おまえが聞きたいと
言っていたのは、
そのことか？

ああ。
シリンダー
ブリッジから
ここに来るまで
ずっと考えてた。

オレはなにを
期待されてるんだ？
理想に対抗する
真実ってなんだ？

…。
ちょ、ちょっと
ブラック!!

バニリッチが
元気になってる!!

ダメですよ、アイリスさん！試合中の助言は。
あ、つい！でもどうして？

"あられ"には3つの役目があったのでしょう。

1つは相手への攻撃。
2つめは姿をかくすかくれみの。
そして3つめは、
回復。

バニリッチの特性「アイスボディ」。
みずから作り出した"あられ"という天気の中にいるときは、
それによってダメージを回復しつづけるのです。
よけいな話などしているからだ。
せっかく"もろはのずつき"で与えたダメージも意味のないものになったな。
しかも…。

ブオウ!!
…氷状態!!
いつのまに…!?

おまえが気にしていることは、そもそもシャガどのの言った言葉。
その意味をわたしに問うのは筋ちがいだろう。

そんなことはわかってんだよ。ハチクさん…。
…でもさ。

オレが言われたってことは、オレ自身に関することなんだろ?

なのに、オレは知らない!
オレのいないところでオレのことを勝手に決められてるみてえで、スッキリしねえんだ!!

"サイコキネシス"!

それによ。
ずっと感じてんだよ、ハチクさん。
あんたの、そでの中の気配をよ。

なに?

博物館の地下で見たダークストーンと同じ気配だ。
そんなもの前にしてとてもじゃねえけど、バトルに集中なんてできやしねえ!!

話してあげたらどうですか?

テルユキ!!

いいだろう。
シャガどのが「理想」と「真実」という言葉を使ったのであれば、それは、それぞれ伝説のドラゴンを指す。
イッシュの「理想」とは、
ゼクロムのこと。
今回、敵の手に落ちダークストーンから本来の姿にもどったであろう黒きドラゴンだ。
それに対するイッシュの「真実」とは、
レシラムのこと。

その石を
伝説のドラゴンに
戻すこと…!
この修業は
そのための修業
なのか!?

プラズマ団に
対抗する力を
身につけるための
修業と言ってたけど、
…それは…
そういう意味なのか!?

少なくとも
シャガどのは
そう考えて
いるようだ。

ゴーラ!!

ムンナ戦闘不能!!

動くんじゃなかったぜ。

ツンベアー!!
ストーンエッジ!!
ボ
武器であるツメを狙ってきたか。
つたりめーだ!!
今の話聞いて、オレもポケモンもカッカきてんだ!!

口じゃうまく言えねえけど…。
腹の底でなにかがたぎってやがる。
残り1匹同士…！
ゴォアアァ
まずは、このジム戦の決着をつける!!
ズオッ!!

同じ頃、
ソウリュウシティ

本来の開催時期は3か月後なのだが、

諸事情によりポケモン協会との協議の結果、

開催時期をくりあげることとなった!!

開催は…、

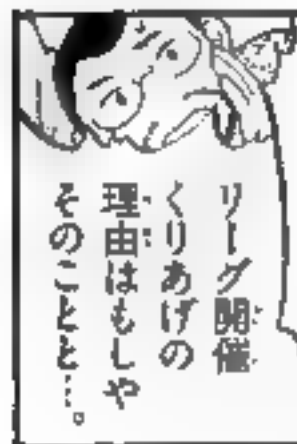
1週間後!!

ADVENTURE MAP

NO DATA

NO DATA

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#505
VSツンベアー
TUNBEAR
しょうけん
「条件」

ポケモンリーグの開催時期のくりあげ!?

1週間後!?

うわーっはっはっは!!
さっしがいいな!!
もちろん関係は大ありだ!!
な、なぜジムリーダーたちは失そうしたんですか!?
いったいどこへ!?
わからん!
まったくわからんのだよ。
われわれも全力で探しているがなにも手がかりがつかめない。
そしてこのままやみくもに探し続けても、おそらく彼らは見つからない。
それほど大変な事態が発生している…とだけ言っておこう。
そして諸君らが言ったようにジムリーダー不在に対する、
トレーナーたちの不安の声はわれわれにも届いている。

当然でしょうッ バッジを 集めることが、 リーグ出場の 条件ですッ
リーダー不在では バッジが 集められないんですからッ
わかっとる わかっとる
出場条件は 公平でなくては ならない そこでだ…
開催時期は 変えても 出場条件は 変えない
かんたんにいえば

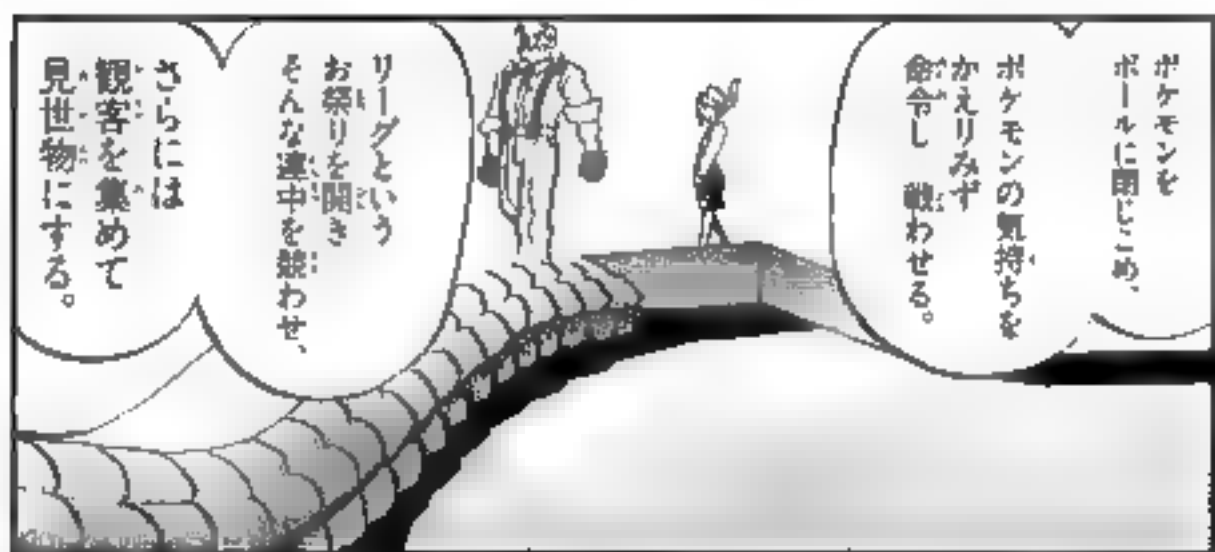
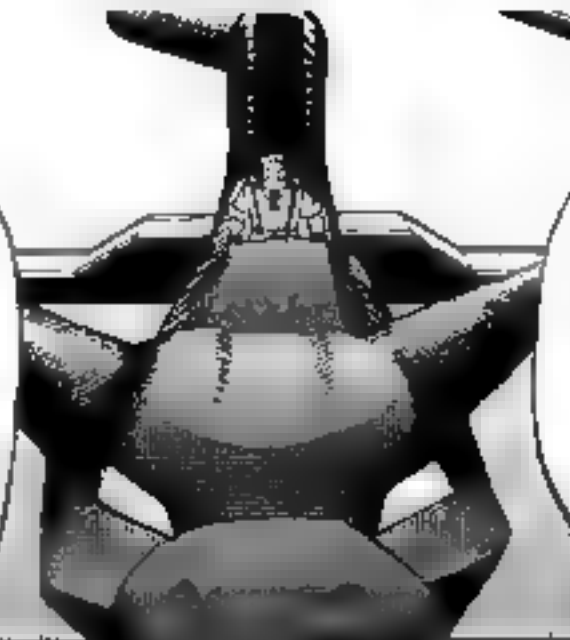
今、現時点で 8つのバッジを 所有している者だけが、
1週間後に開催する ポケモンリーグに 出場できる
と いうことだッ

えええええ!?

会長 次の予定の お時間です
うむ

以上だ
くれたまえッ

待ってくださいー、市長ーッ！
シャガ市長！
やはりああいった反応になってしまいましたね!?
予想どおりだな。

しかし、これしかない。
これしかないのだ!!

ポケモンをボールに閉じこめ、ポケモンの気持ちをかえりみず命令し戦わせる。
リーグというお祭りを開きそんな連中を競わせ、
さらには観客を集めて見世物にする。

「ポケモン解放」を大目標としているプラズマ団にとっては、
ポケモンリーグに参加する者も観戦する者もすべて道をあやまった敵だ。

世間の注目するポケモンリーグにおいて、トレーナーによってきたえられたポケモンたちを全滅させれば、
自分たちの思想や教義の正しさを広く知らしめられる！

ダークストーンが奪われてからこれだけの時間がたったのに、
プラズマ団は潜伏したままなんの動きもない。
ダークストーンをゼクロムに戻せたのか？
戻せてないから現れないのか、別の理由があるのか？
プラズマ団は必ず来る!!

どうしても奴らに直接確かめねばならない。
ポケモンリーグのくりあげ開催は、プラズマ団をおびき出すエサにすぎん！

また、血も涙もないような言い方をして…。
リーグ参加者や観客に被害がおよばないように配慮してあることはわかっております。
む。
ところでアイリスは?
イッシュの「真実」を担う少年のジム戦を観戦しておられます。
では、セッカシティに?
はい。
今ごろあのあたりは
大雪でしょう。

冷気をふくんだ吹雪が指をおおって、
氷のツメに!!
痛めた指先を補ってあまりある戦法ですよ、これは!
ゴーラ!!
防御だ!!
あぶねえ、あぶねえ!!
ツメが長くなったから攻撃距離がのび、到達速度も速くなったんだ。
こんなセリフ、
ちっさい頃見た映画であったな。

「闘え！　カビゴン」　いや、「帰ってきたカビゴン」だっけ。
……。
主人公が使ってた戦法だよ。

あれ？　ハチクさんのセリフなんだよな。

「帰ってきたカビゴン」です。そして正確には、主人公ではなく敵役です。
ちなみに「闘え！　カビゴン」はテレビシリーズ。
こちらはハチクさんが主人公で、エンドテーマの「ロンリー・カビゴン」はハチクさん自身が
テ・ル・ユ・キ。

へへへ。そんな人とガチでポケモンバトルやってるなんて。不思議な気分、じわっと感動！

フ…
昔の映画の話でわたしの心を乱そうとでもいうのか？

じょうだんじゃねーや！
そんなセコい手使うかよ!!

言ったろ!? オレはたぎってるって!!
腹の底からよ!

ツンベアー、ばかぢから!
力ずくで防御姿勢をくずす気!?

だが、プロトーガの防御力が上回ってますね。

いいぞ、ゴーラ!!
そのまま、がんばっててくれ!!

ちょ、ちょっと
ブラック！
試合ほったらかして
なにしてんのよ！

引き受けるぜ！
ハチクさん！

気がついたんだ！
Nは「チャンピオンを超える」って言ってるらしい。

一方で オレもリーグ優勝が目標！
ってことは、チャンピオンのアデクさんに勝つってことだから。

つまりオレも、
チャンピオンを超えるってことだ。

オレとNは同じことを目ざしてるんだ!!
ヤツがゼクロムならオレはレシラムで！そうしないと対等にならないだろ？

まちがってるかもしれねえけど…
オレの瞳の底でたぎってるものはこう言ってるんだ！

アデクさんはオレが倒す！
その前に、

Nをぶったおさなきゃあ…ってな!!

だから、さあ!! ライトストーンをよこしてくれ!!

ドガッ

たえろ、ゴーラ!!

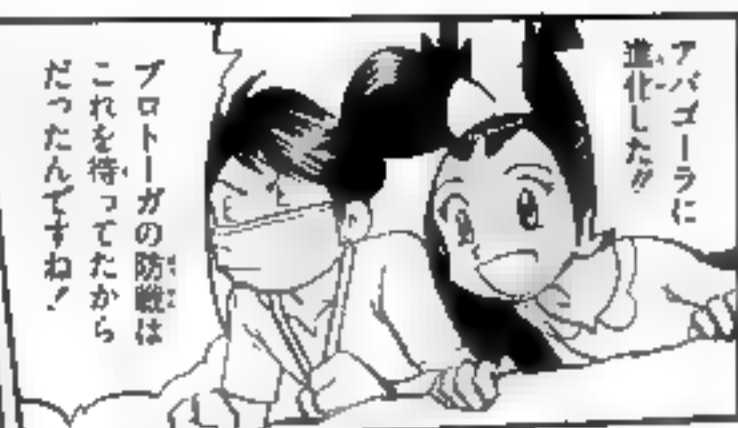
ここで負けられねえ!!

オレの、「夢」!!

ポケモンリーグで優勝する「夢」!!

オレは、

チャンピオンを超える!!

アバゴーラに進化した!!
プロトーガの防戦はこれを待ってたからだったんですね!
これで腕の長さの差がつめられる!!
あ、当たんないよォ!
間合いもバッチリなのに!!
それで攻撃回避しやすくなってるのね!
特性「ゆきがくれ」!!
先に倒れたバニリッチによる「あられ」が、まだ降り続いてますからね。

ビュッ
そろそろ最後にしてやれ、ツンベアー。
ひ～～～～～!!
勝負ありましたね!!
ハチクさん!
ここまでの修業、ありがとうございました。

礼にはおよばん。
さあ、
ライトストーンだ。
受けとれ。
これから先プラズマ団との戦いが待っている。
だがそれは
おまえの思う「真実」が否定され、
心がこなごなになってしまうかもしれない戦いだぞ。

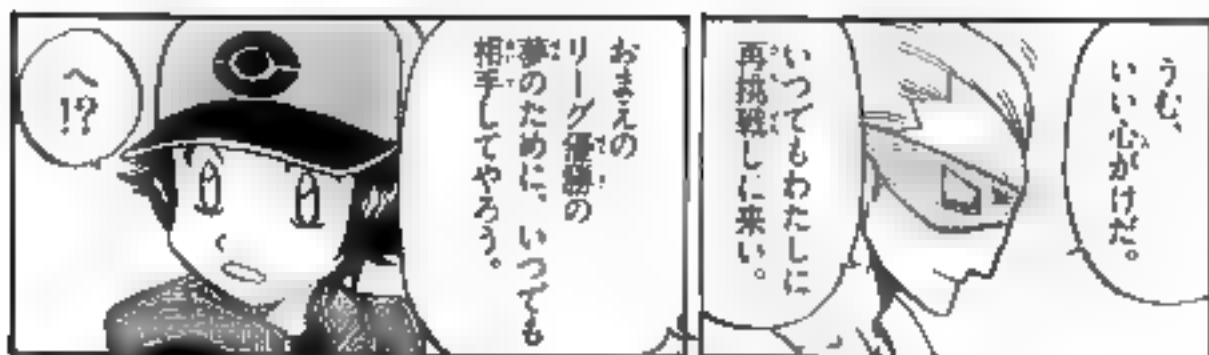
うむ、いい心がけだ。
いつでもわたしに再挑戦しに来い。
おまえのリーグ優勝の夢のために、いつでも相手してやろう。
へ!?

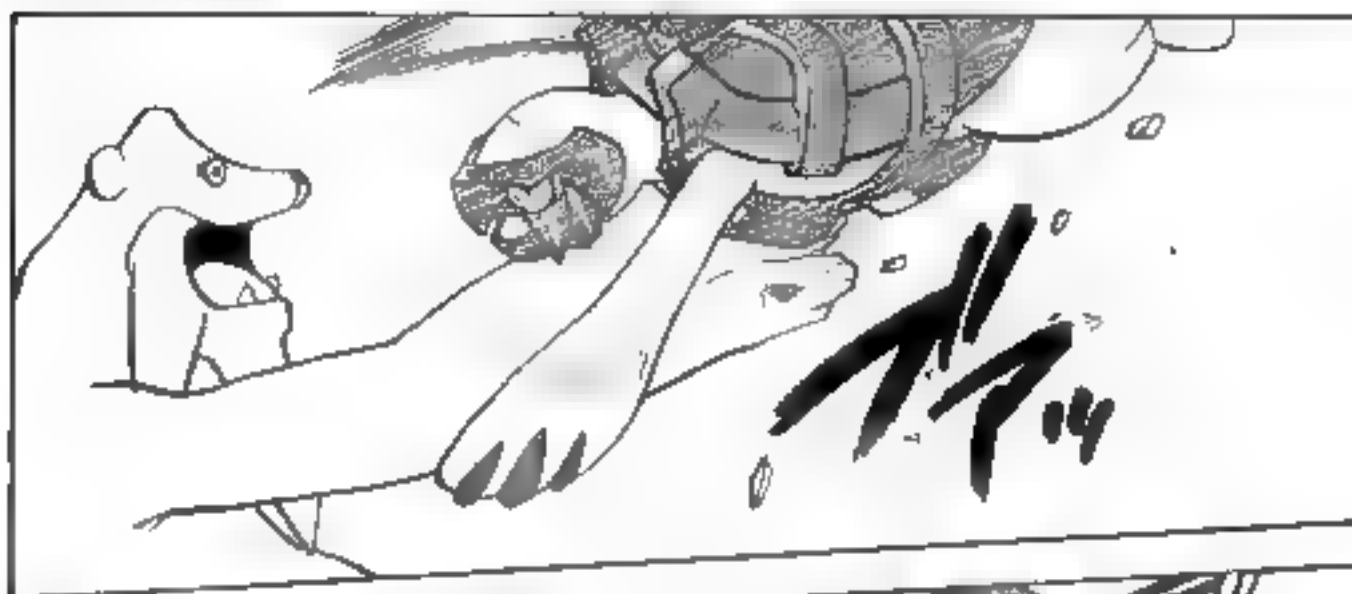
じゃ、じゃあリーグ中止ってことはないんだね!?

無論だ。

シャガどのもわたしも、リーグは必ず開催させようと決めている。
なにがあってもだ。

そうか。だったら遠慮なくバッジもらうよ。

む?

戦闘不能になってなかったの!?
アゴで受け止めてたんですね!

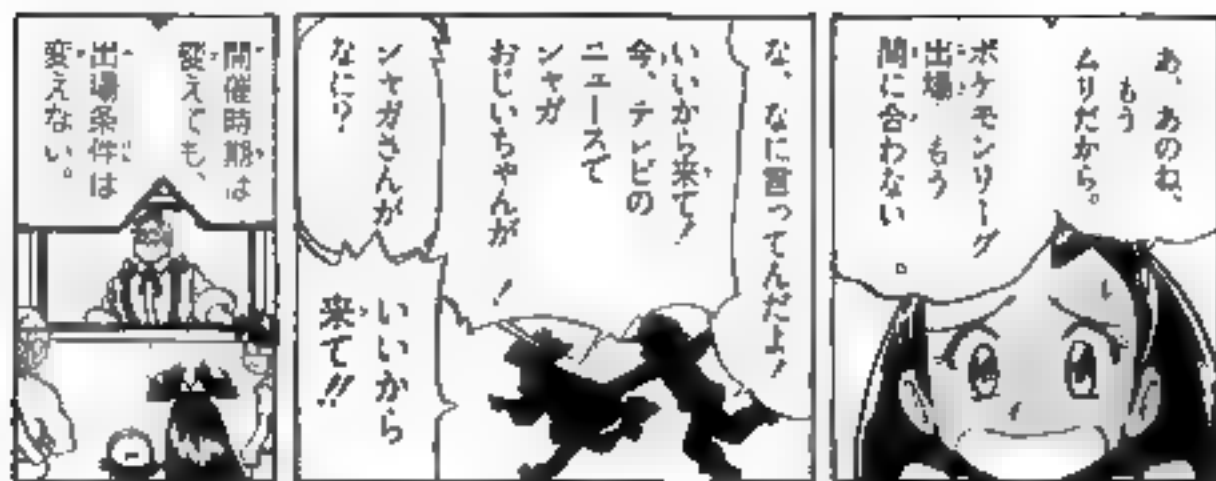
へへへ。
攻撃が当たらねえんなら、とにかくツンベアーに離れなきゃ始まらないからな。

ガッ

ツンベアー戦闘不能!!
挑戦者ブラックの勝ち!!
すっげーな、ゴーラ!!
こーんなおじいちゃんになっても進化できるもんなんだな!
ポン!
よーし!
レシラムとご対面させてやるぜ。
もしレシラムがライトストーンになるとこを見てたんなら、
戻るとこと両方見ることになるのはゴーラだけかもな!
行くぜ!
ブワ!

レシラムよ!!

イッシュの真実、
白きドラゴンよ!!
その姿を現せ!!

ブラック
このハチクに
勝利した証
アイシクルバッジだ。
やった!!

これで
バッジ7個!!
あと1個!
たったの1個で
ついに…、
ついに
ポケモンリーグ
出場だーっ!!!

最後は
ソウリュウジム、
シャガさんとの
ジム戦だ!!
下調べはバッチリだ!!
メインのクリムガンは
特性「ちからずく」
注意すべき点は…!

ちょ、ちょ、ちょ
ブラック!!
ちょっと待って!!
なんだよ!?
アイリス!!

な、な、な、

ええええええええええ!?

リーグは1週間後開催…!!
しかも今、バッジを8個持ってるヤツしか出れないだって!?

どういうことだよ、ハチクさん!! あんた知ってたのか!?
いや。

1週間後というのはわたしも初めて聞いた。
おそらくシャガどのが単独で決めたこと。

テルユキさん! アイリス! シャガさんに連絡してくれよ!!
ハイハイただ今。

ダメです。お出にならない。

きっと各方面から取材が殺到してるんでしょう。
あれだけの発表、イッシュ中が大さわぎになってますからね。

でられないま
つた1コたりな
るのはいまで
つてる
まフコまと
だつたのにたつ1コだ
つたのにもうムリ オレに
はしかくず ままで

そうだよ、ブラック！ヤケ起こさないで!!
シャガおじいちゃんが認めちゃうような、ほかのすごいことを見せればいいのよ!!

な、なんだよ、ほかのすごいことって!?

「おお！こいつならバッジ8個でもリーグに出してやろう!!」って思わせるような…。
たとえばレシラムを引き連れてリーグ会場に乗りこむとかさ!!

どうやって!? 戻し方もわからないんだぞ!!
そーだした

アイリスの考え、まちがってはいないかもしれない。
シャガどのは人を試すようなところのある方だ。

レシラムが無理ならばゼクロムに対抗しうる「力」、
それほどの「力」を持ったポケモンをたずさえてシャガどのにアピールするか…。

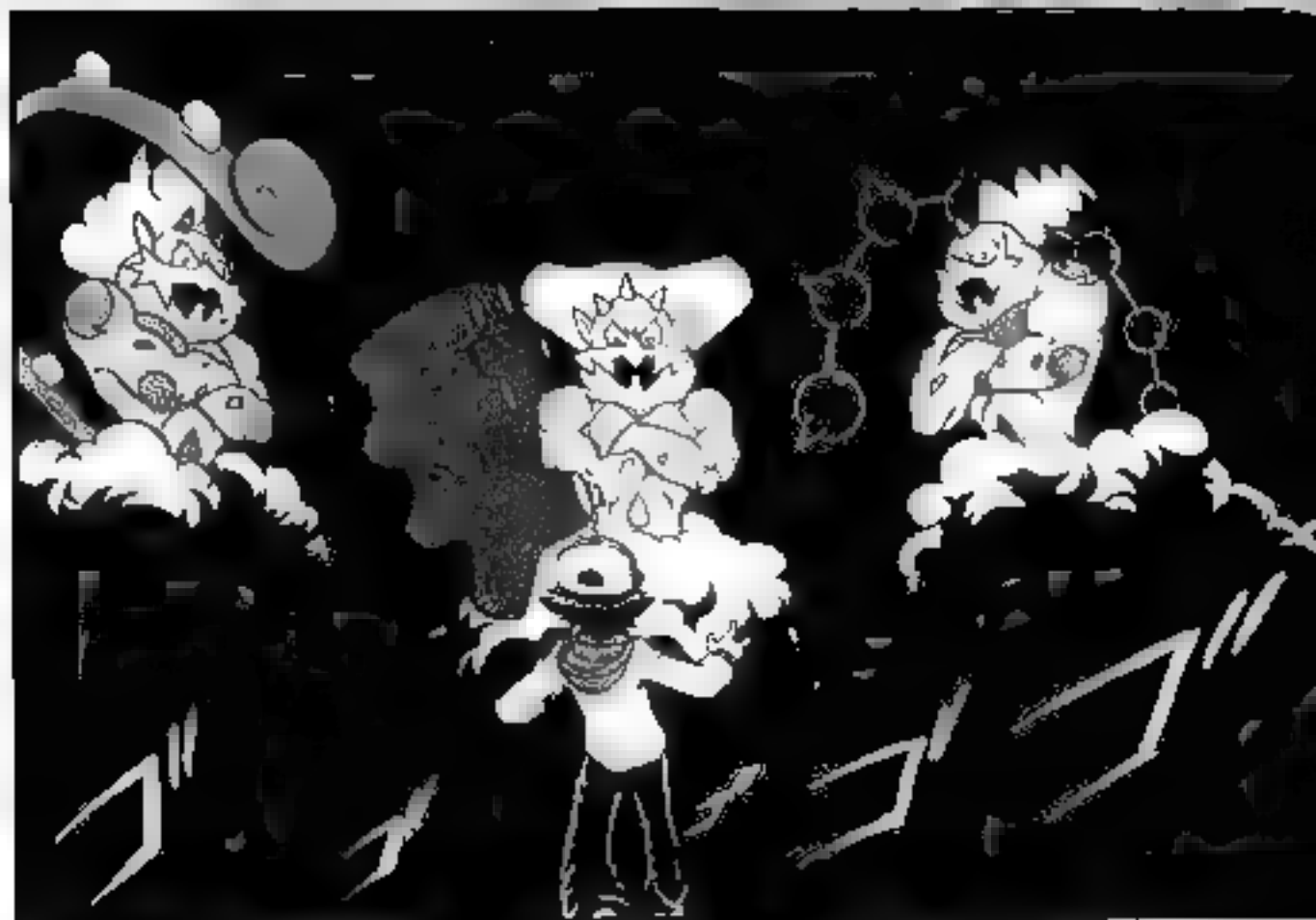
このイッシュを駆けめぐるという
"せいなるつるぎ"の3匹
コバルオン、
ビリジオン、
テラキオン。

な、なんだよそれ！
なにも考えられねえってのに…。
たった1週間で、レシラムを戻すだの、強力なポケモンを捕まえるだの。
そんなこと、
そんなこと…、

できるわけ、
ないだろ!!

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#506
VSコバルオン・テラキオン・ビリジオンⅠ
COBALON・TERRAKION・VIRIZION Ⅰ
「三剣」

ゴゴゴゴ

う…うわ。
わは〜〜〜!!!
ゆ、夢か
あせった〜〜。。

つくちゅん!!
おカゼですか? ここ数日寒い日が続きましたから。
あのね、うつさないでね。
アハハ。だれかにウワサされてんのかな?
さ! バトルの練習続けましょ!
そろそろわれわれ一人でお相手できそうですね。
うん!
やっとダブルバトルができる——。

いや！
いやいやいや!!
ダメだダメだ!!
社長はバトルサブウェイでがんばってんのに
弱音をはいて心配させたらどうする！
とにかく！
バッジ7個でもリーグ出場OKってシャガさんに思わせるには、
力を持ったすげえポケモンが必要だ。
旅の途中一瞬だけど、オレだって出会ってるんだ！
伝説のポケモンの1匹に！
へー！なんてポケモン？
たしか、ビリジオンっていったな。
どこで会ったの？
ヤグルマの森の「しさくのはら」とかいったっけな、そこで。

アイリス!!
どっから
出てきた!?
出てきたって
何よ!?
人を野生の
ポケモンみたいに!
あんたが大雪の中
セッカジムから
飛び出して
心配して見に来て
あげたんじゃないの。
「ありがとう」
でしょ?
ハイハイ
ありがと
つたく
こうるさくて
こまっしゃくれてて
なまいきで
ブツブツブツ
あーーっ!!
何よ、その態度!!
せっかく
いい情報が
あったのにね
いーわよ、
教えたげない!
行こっ オノノクス!
いい情報って
なんだよ!?
アイリス!
よびすて!?
ぐっ
アイリス
ちゃん

あの川の向こうに「フキヨセのほら穴」って場所があって、
そこは伝説のポケモンのすみかだっていう情報！

と、どこで聞いたんだよそんなこと!?
さっきそのへんであったおじさん。

なんてったっけえ～と。

そうそう！なんとか博士ってエライっぽい……。
あ、あれ？

ここが「フキヨセのほら穴」か。

アイリスの言うこと信じてここまで来たけど
ホントに伝説のポケモンなんているのかな？

あなた、なんなのよ!!

ちゃんとやりなさいよ!!
でも。
いいわけはいいですわ!!
えーと。
どういうことですの!!
あの。
あーもーわかった!!
とにかくここまで来たからには私は行かせてもらいますわよ!!
姫ー!!

なんなんだ!?

おーーい!
だいじょうぶですか!?
きゃっ!
あなたは!?

あ、おどかしてすいません!
オレはブラック!
言い争ってるのが見えたからつい。

あ、わたしこそゴメンなさい…。
わたしはショーコ。
みんなからは「ミネズミショーのショーコ」って呼ばれてるわ。

ミネズミショー?
説明するより見てもらったほうが早いと思うわ。

4匹のうち1匹にキノコを持たせて、
ミュージックスタート!

ポ
ペ
ペ
ペ
ペ

ポ
ペ
ペ
ペ
ペ

ポ
ペ
ペ
ペ
ペ
ペ

はい!!
じゃん!
さて!
最初にキノコを持たせた1匹は今どの位置にいる!?

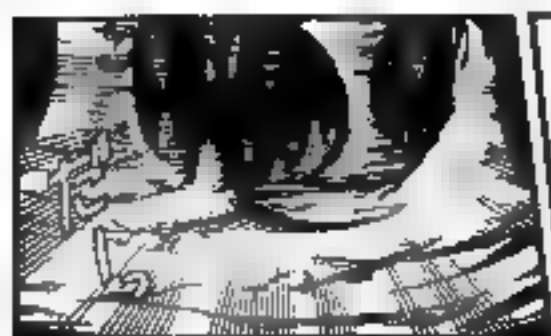
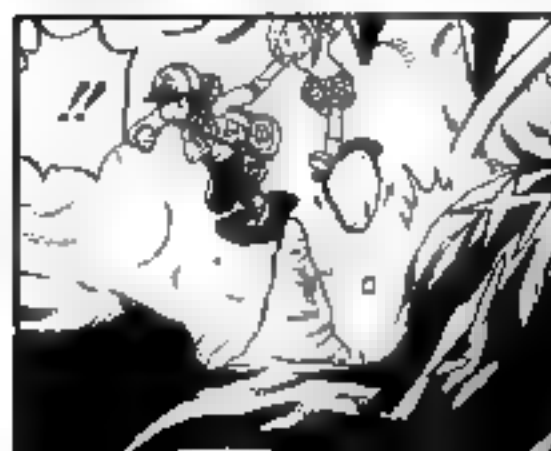
あかぐげ・
プニュ
え!? え!?
だいじょうぶ!?

とまあこういうショーなんです。
正解者にはキノコをあげて。
いつもは「ワンダーブリッジ」って橋の上でこの芸を見せてるんだけど。

でも今日は「姫」に強引に連れ出されて。
姫!?

さっき
どなりちらして
ほら穴に入ってってった
人だよね？
どっかの国の
お姫さまなの？
あ、ううん、ただの
ニックネームよ。

貴族家の令嬢で
わがままで気ままな
お姫さまみたいで
わたしのお友だち。

今の…、
「姫」の声だ!!
やっぱり…！
言わんこっちゃ
ない…。

ただごとじゃ
ないよ、
あの悲鳴！
ええ
きっとそう。
ほらっ！
友だちなら
助けに
行かないと!!
!!

あれは
ビリジオン!!
それにもう1匹は
ええ!
同じ伝説の仲間
テラキオン!

あと、もう1匹
いるはず！
この「しるべの國」に
本来いるべき
1匹が
そんなことより
まずは、姫を
助けねえと！
ブオウ!!
本当にいたんだ!!
アイリスの言った
とおりだった!!
うまくいったら
この2匹を捕まえて
仲間にできるかも
ブオウ！
かえんほうしゃ!!

な、なんてこった！
空気ごと炎を
切っちまった!!
だっ

ビリジオンのツノはするどい刃だ!!
つむじ風のように駆けながらまわりのものを切っていく!!
ポケモンの中でダントツのすばやさだ!!
気をつけろ!!

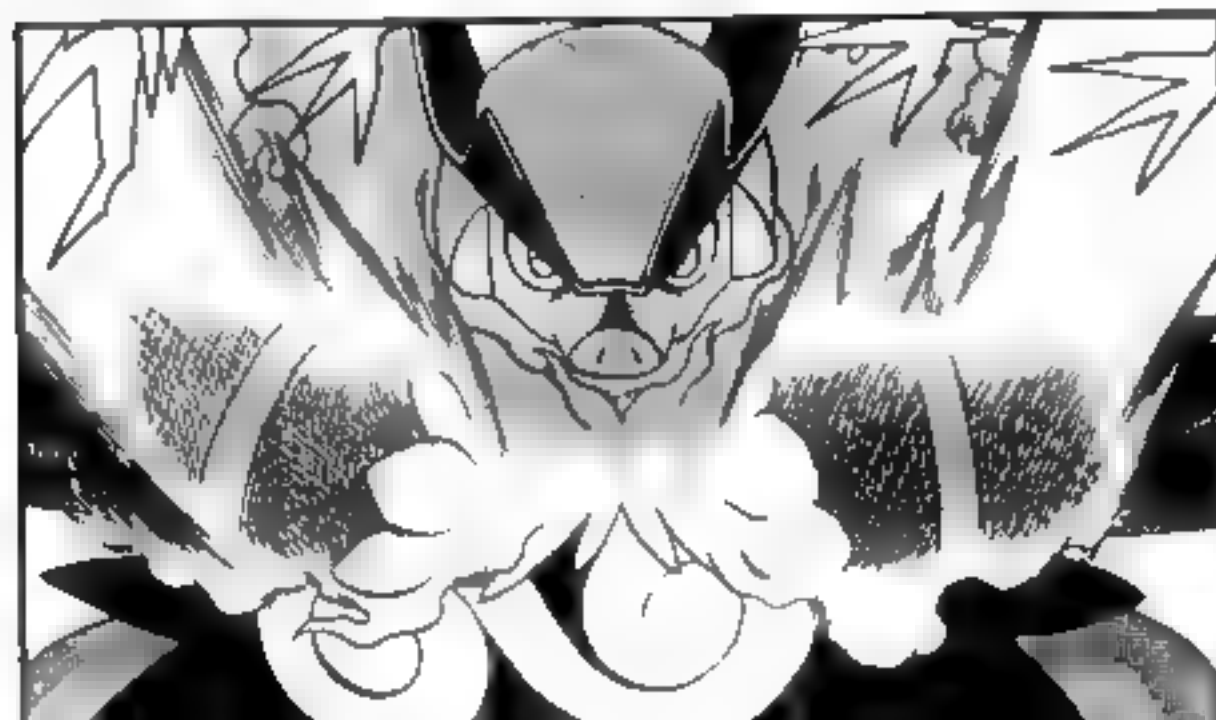
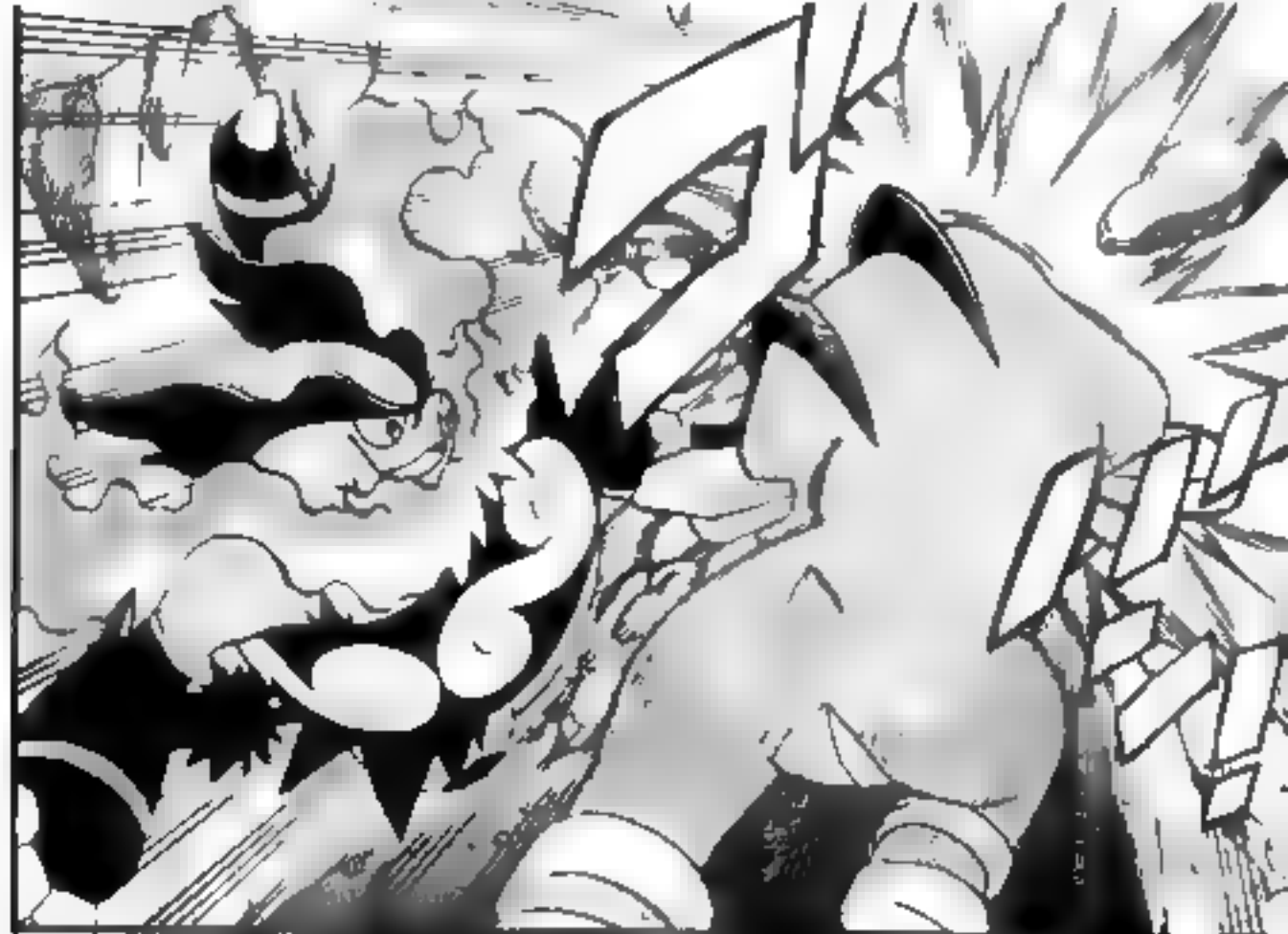
マジカルリーフ!
ビリジオンはくさタイプ!?
だったら、
ブオウの炎技が有利!

こぶしに炎をまとわせて
こいつて直接打撃だ〃

一回でチラキオンと入れかわった!!
なんてコンビネーションだこの2匹!

す、すげえ!!
岩肌ぶちぬく
穴を空けやがった!!

テラキオンは
ポケモンの中で
1番の

ちょっちょっと!
あんたさっきから
なんでそんなに
くわしいんだ!?
だって

さんざん
調べるのに
つき合わされたもの。
伝説のポケモンを
捕まえるんだ！って
はりきるあの人に。
もぅん
わー！
きゃー！
なんですの
〜〜！
ブギャ！
へちゃ
マズい！
姫！
ビリジオンの
"リーフブレード"、
テラキオンの
"ストーンエッジ"が
同時に来るよ!!
よけて〜〜!!

ブオウ！
よくやった!!
姫〜〜〜〜!!

わかったでしょ!?
伝説のポケモンを
捕まえるなんて
ムリなんだって!!
帰ろ――よ!!

こんなことしなくたって
何不自由なく
暮らしていけるじゃない!!
わざわざ危険をおかす
理由なんてないでしょ!?
おだまり!!

理由は、

冒険とロマンよ!!

ブルジョワな一家に生まれ育った私は何でも欲しいものを手に入れてきましたわ!
でも・・!
冒険とロマン!!
これだけはいくらお金を出してもおねだりしても手に入らないの!!

自分ひとりの力で道を切り開き探し当て見つけ出すものに真の価値があるんだわ!!

自分ひとりの力って思いっきり手伝わせといて・・
あなたみたいなおくびょうなオロオロ女に冒険とロマンのおすそわけをしてあげたまで!!
来る日も来る日もワンダーブリッジの上だけでミネズミショーをしてて何が楽しいんだか!?
もっと広く世界に飛び出して行っていろんな人に見てもらおうって思わないの!?

このブルジョワール家の
トリッシュが、
身をもって
冒険とロマンを
見せてあげますわ!!

アララギだよ。
キミは
人の名前を
覚えんのかね。

そうそう!
さっきのほら穴の話
ブラックって友だちに
教えたんだ!
ほう!
ブラックくんと
友だちなのか?
それで彼はどこに?

さっそく
ほら穴に行ったよ!
伝説のポケモンを
戦力にしたいからって。
なんと!!

ふむ、
だいじょうぶかな?
どうして?

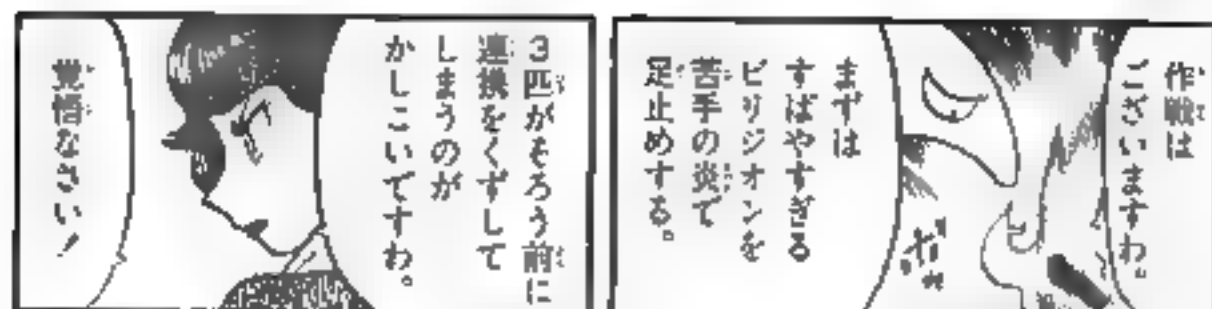
伝説のポケモンは
強力な相手だが、
何より、
ビリジオン・テラキオン・
コバルオンの3匹は
人間を一切信用して
いないからな・・。

おそらく・・
手加減のない
バトルをしかけて
くるだろう。

ねーねー
なんで信用
してないの?
それはな・・

かつて3匹は人間と…、
大きな争いをしたからだ。

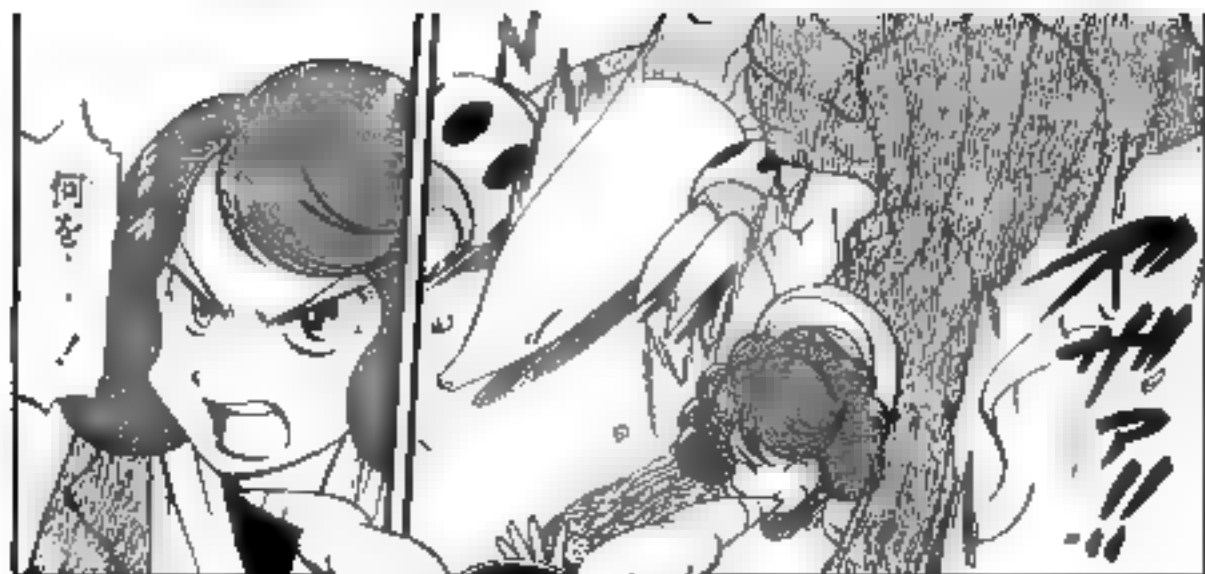
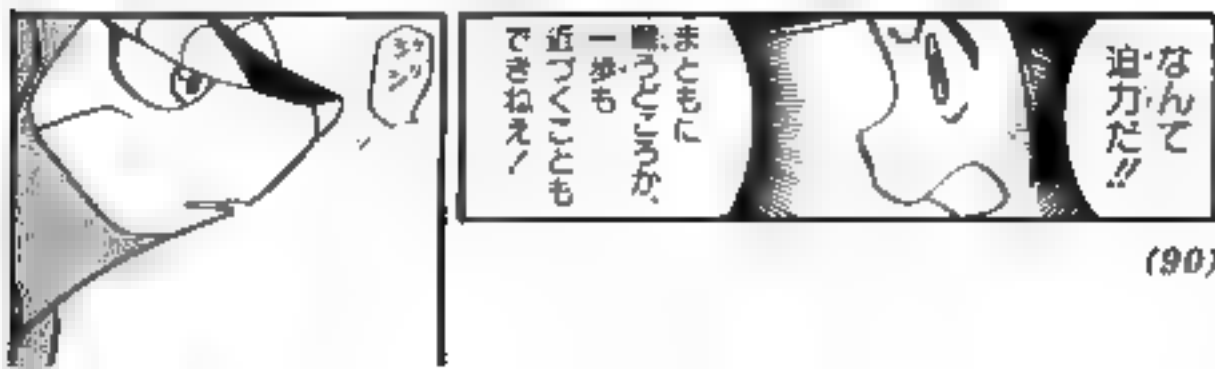
作戦はございますわ。
まずはすばやすぎるビリジオンを苦手の炎で足止めする。

3匹がそろう前に連携をくずしてしまうのがかしこいですわ。
覚悟なさい!

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#507
VSコバルオン・テラキオン・ビリジオンⅡ
COBALON・TERRAKION・
「信用(しんよう)」

さあ!!
覚悟なさ――い!!

何を・・・!
ズガァァ!!

なんて迫力だ!!

まともに戦うどころか、一歩も近づくこともできねえ!

爆発!? どうして!?
はじかれたたいまつが何かに引火したんだ!!

姫! トリッシュ!!
起きて!! 逃げないと!!
離しなさい!!

伝説の3匹を前に戦わずして逃げて、なんの「冒険」です!!
この苦境の中で、命をかけて目的をなしとげる!! これこそ「ロマン」ですわ!!

何言ってるのよ! できるかどうかもわからないのに!!
そのマイナス思考こそどうにかしなさい!!
こんな火事まで起こして あなたのデタラメな行動のせいで いろんな人に迷惑をかけてる!!
私が悪いと言うのですか!? そもそも!!

二人ともケンカしてる場合かよ!?
外へ逃げないと!!

あ、あれ!?

ショーコさん! ミネズミが3匹しかいない!!
え!?

まさか…!!

きゃーーっ!!

助けないと…、

ゴーラ!!

くそっ!!
火の勢いが
強すぎて
!!
おどきなさい!!
ドンッ

こんな炎など
私のクイタランなら
平気です!!
行きますわよ!!

よけいなことしないで!!
よけいな
こととは
なんですの!?
あなたが
しゃしゃり出たら
ますます状況が
悪くなるわ!!
んまあ!!

きゃ!!

ビリンオン!!

テラキオンも！外への逃げ道を作ったのか!!
でも、この火じゃビリジオンでもたどりつけない!!

今度はコバルオンが!!

ザアアア!!

す、すげえ!!

岩をこなごなにして炎を消した!!

ショーコさん
トリッシュさんも
逃げてください!!
ブラックくん
あなたは!?

オレは
ゴーラと、
残った火を
消してから
行きます！

さあ、行って!!

いた！
わたしのミネズミ！
よかった
ですわね！

は。

無事だった？
なんともない!?

ひ。

え?
ま

き、消えちゃった ミネズミたちも
私の クイタランも…

おーい!
あ、あれ?
えーーん
と、どうしたの、二人とも?

どうしたもこうしたも、
かくかくしかじかですわ~~~!!
ほうなるほど、コバルオン・テラキオン・ビリジオンが、
手持ちのポケモンたちを連れていってしまったのか。
ありうることだ。
あなたは、
アララギ博士!!
アイリスもいるよ
は、は、はじめまして!!ポケモン図鑑とこのプオウを受けとったブラックです!!小さいころからずっと…。
うん娘から聞いてる。会いたかったよ、ブラックくん。

ところで今の
ありうるって話は
うむ、
あの3匹はかつて
人間と敵対していた
ポケモンだからだ。

敵対!?

現在は人間と
ポケモンが
おたがいを
助け合う
時代だ。
しかし
昔は

人間同士が始めた
大きな戦が
森や野山を焼き、
それだけではなく
そこに暮らす
ポケモンたちの命まで
おびやかした。

おびえ、傷ついた
ポケモンたちに
目もくれることなく
争い続ける
人間たち。
そこに
現れたのが
あの3匹だったという。

人のそばにいてはポケモンたちの命は常におびやかされるだけ。

かれらは人間とポケモンの関係が、今もその時代のままだと思っているのだろう。

そんなことない！トリッシュはいつもわたしをふるい立たせてくれたわ！

ミネズミショーだってトリッシュのおかげ！
この芸を認めて檻の上へ連れ出して、人に見てもらえるようにしてくれたんだもの。

あなたがいなければ
！

それは私のセリフです!!

ブルジョワール家に生まれ、なんの苦もなく生きてきた私ですが、あなたのような才能はありませんでした！
ですが、あなたといっしょにいれば自分も何かを生み出せる、なしとげられる、そう思えました！

あなたがいたから冒険やロマンの「夢」を見られた！あなたがいなければただ時間を食いつぶすだけの女！
ううん！ミネズミを助けようと炎の中へ飛びこもうとしてくれたじゃない！おやのわたしなんか何もできなかった！

ううう　。

姫〜〜〜〜〜!!
ショ〜〜コ〜〜!!

博士! これだよ!!
む?

このことを3匹に伝えればいいんだよ!!
二人は争いをやめて仲直りしたって!!

ムシャ!

何事ですの!?
ブラックくん!!
おおっ! これが娘の言ってた

わかった!!

切れてる葉。
傷のついた樹。

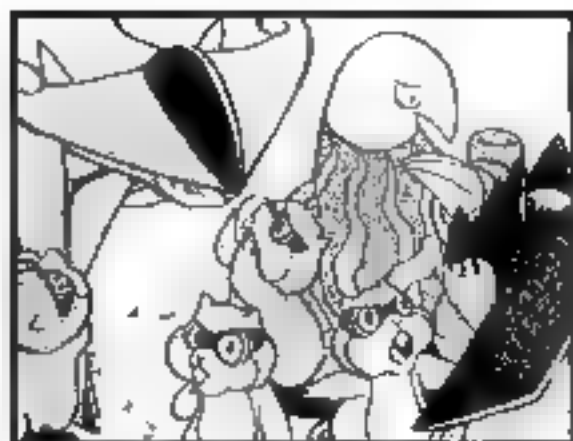
オレのこの服と同じ！
ビリジオンは走るだけでまわりのものを切っていく。

この跡をたどって行けば

たぶんこのあたりに。

お願いがあるんだ。コバルオン、ビリジオン、テラキオン。
あの二人にミネズミたちとクイタランを返してやってくれ。

きっとこれからはポケモンたちをキケンな目にあわせるような争いはしない。
いや、そもそも争ってたんじゃないんだ!!
二人とも友だちでおたがいを思いやりすぎてさ、それで争いになって…。
あれ?つまりその争いだけど争いじゃなくて…

と、とにかくミネズミたちとクイタランの気持ちはどうなんだ。
こいつらがショーヌさんとトリッシュさんといっしょにいたいかどうかのほうが、重要だろ!?

ありがと。

ブラックの言葉は3匹に通じたのか? 人間に対する信用は…?

イッシュ全域に魔の手が迫る中、かれらも悪との戦いに身を置いていくことになる――。

ADVENTURE MAP

NO DATA

NO DATA

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#508
VSヒヒダルマ
HIHIDARUMA
ちょうじょう
「頂上」

6番道路

師よ！
お聞きになったでしょう！
ポケモンリーグ開催が
早まったことを！
会場に向かい準備を…！
だから、おまえたち
四天王に任せたって
言ってるだろう。

わし、もう
そういうの
引退したいんだよ。
だったら
きちんと後任を
決めてから辞すのが、
責務でしょう!!
どちらへ…！
!!

遠い遠い昔、
この土地には、
双子の英雄がいたんだって。
「真実」を求める兄と、
「理想」を求める弟。
二人はあるドラゴンポケモンと協力してこのイッシュを創ったそうだよ。
それがイッシュ建国の物語。

ところが双子の英雄は、それぞれの求めるもののちがいによって対立した。
それに呼応するように、ドラゴンは「黒」と「白」の2つの存在にわかれた。
「真実」を求める兄についたのは、
白きドラゴンレシラム。
そして一方、
「理想」を求める弟についたのは黒きドラゴン…、

そのゼクロム!

待っていたよ、アデク。

ポケモンリーグなんて愚劣なイベントによってまつり上げられたおろかなチャンピオン。

この四天王レンブが、野試合の行方見とどける!!
おーう!!

バッフロンアフロブレイク!!

走ってる列車さえ脱線させるという、バッフロンの突進！

ポケモンのことを思いやっていれば、出せる技じゃないわね。

なに!?
ワラ
ワラ
威力が強すぎて
ダメージが自分にも
はね返ってるじゃないか。

なるほど、
そういうふうに
見えるか。
はね返ったダメージも
このフサフサの体毛が
あるていど吸収して
くれるんだがなあ。
それに、そんな
キケンな技の指示に
バッフロンが
こたえてくれるのは、
己のことをよく
知ってくれている
トレーナーの命令
だからこそ!!

バッフロン!
アフロブレイク!!

どこに!?

バッフロンが気おされてる！
精神で戦うダルマモードに変化したからだな！

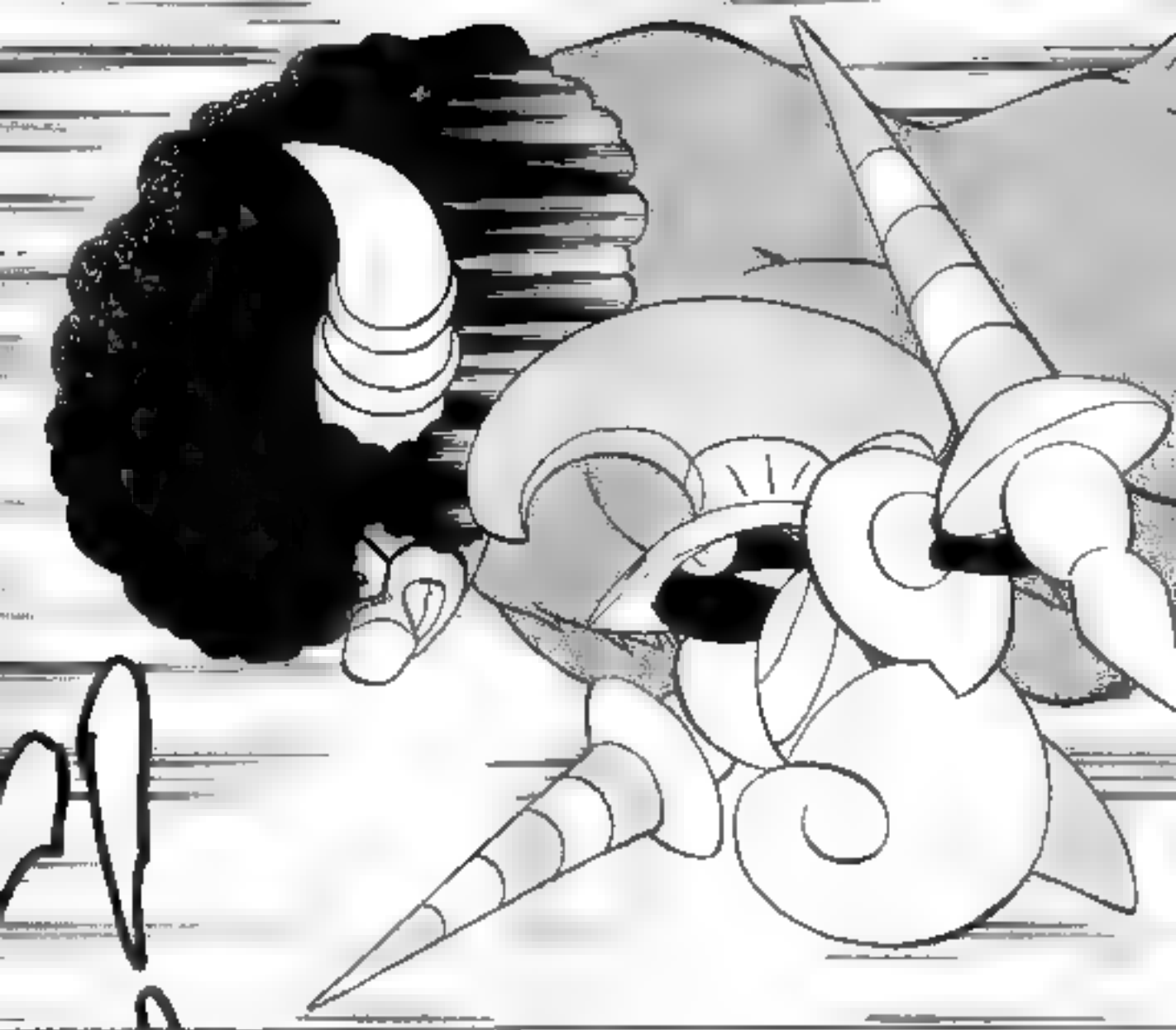
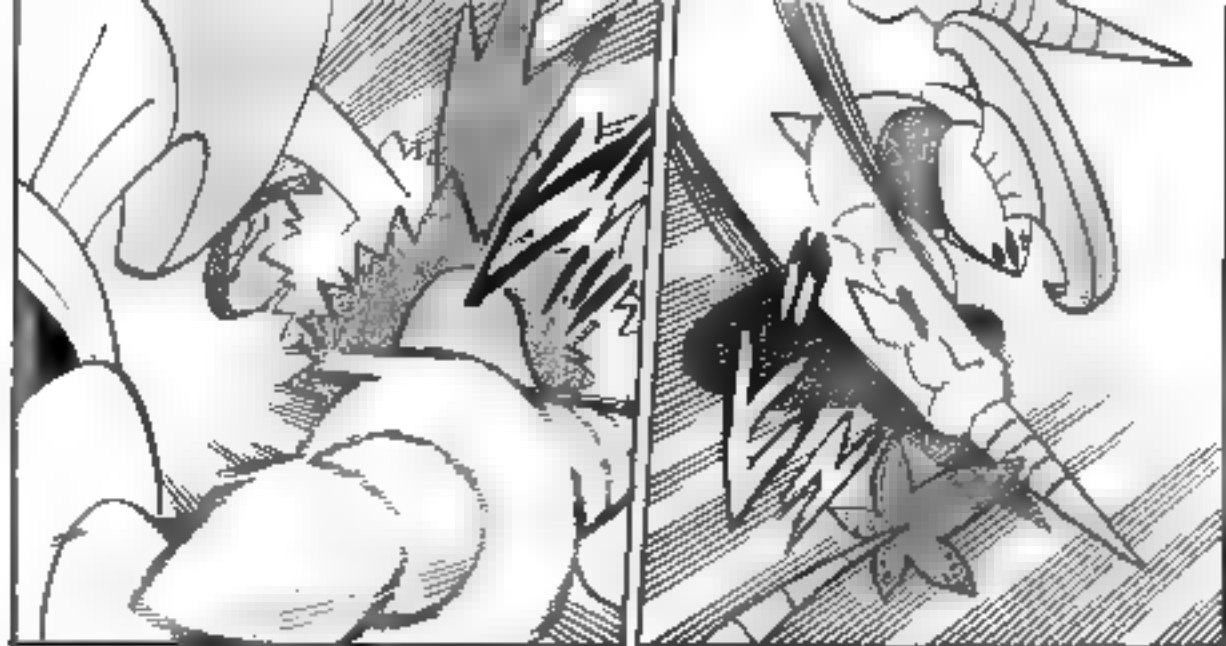
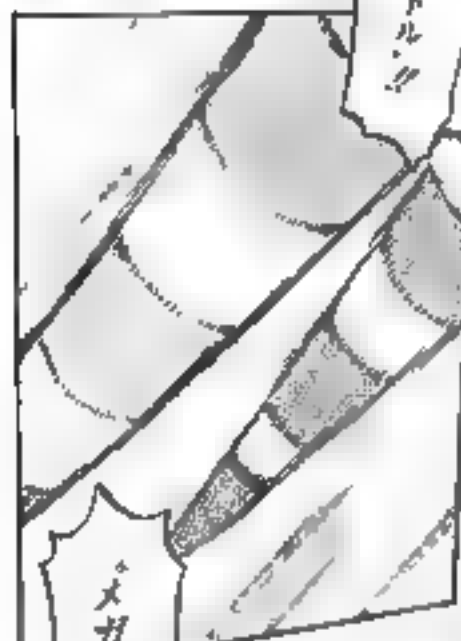
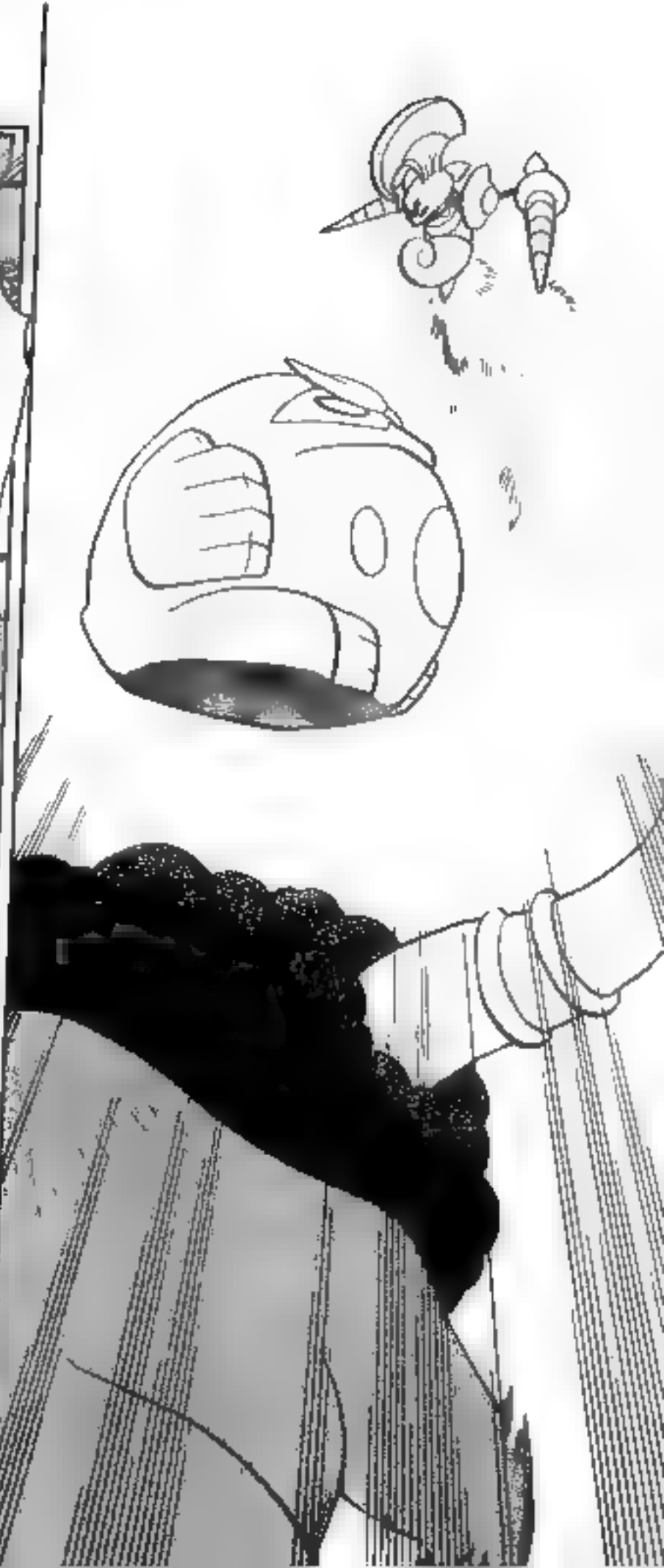
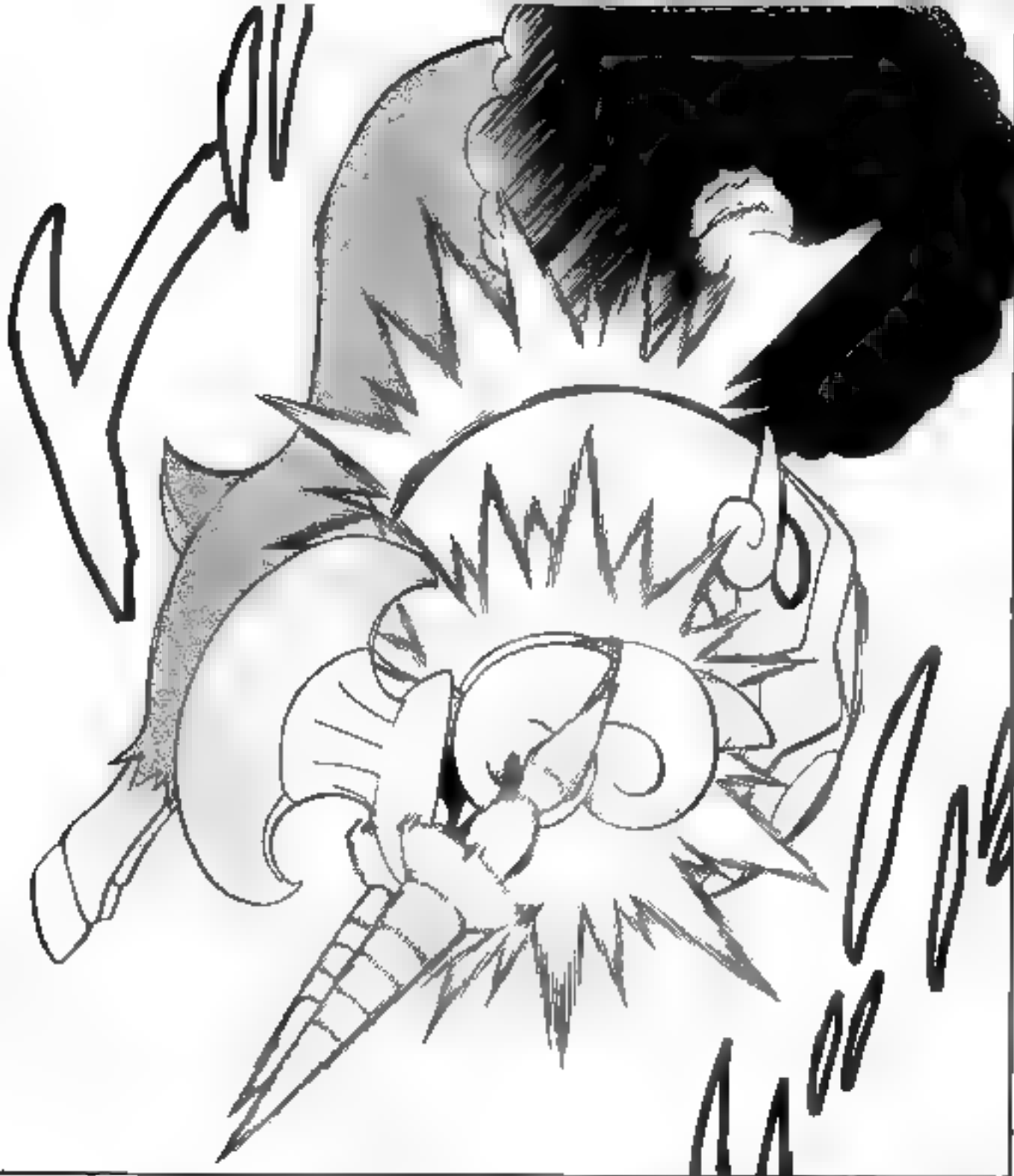
サイコキネシスか!
もう一方のバトルは!?

シュバルゴ!

……。

ダブルニードル!!
メガホーン!!

まずは1匹から確実にしとめるという戦法。

ありがとう、ヒヒダルマ。
よくやってくれたね。
ここ2週間ほどジムリーダーたちの姿が消えたと聞く。
プラズマ団のしわざ、との声も聞こえてくるが、
それは本当か?
そして、
おまえはプラズマ団か?
そうだよ。
ボクが、
プラズマ団の王だ。

ゼクロムがボクを認めた。
かつて英雄を認めたと同じように
ボクを認めた。
だから
ボクは、
英雄なんだよ。

はあ…。

オレ、これから、
どうしたらいいんだろ…。

ま、悩んだってしかたないよ！
前向きに考えよ！前向きに！

軽く言うんじゃねーよ、アイリス!!
おまえにオレの悩みがわかるかよ!!

えーえー！わかりませんとも！子どもすぎてゴメンナサーイ！
だったら、だれならわかってくれるのかしらねー？

ホワイト社長？それとも幼なじみのベルちゃん？
なんでだよ!!

オレのことをわかってくれるのはやっぱポケモンたちさ。

特に生まれてはじめて手にした手持ち、
いっしょにリーグ優勝めざそうぜ!!
ムシャとウォーならな!
ぴと。。

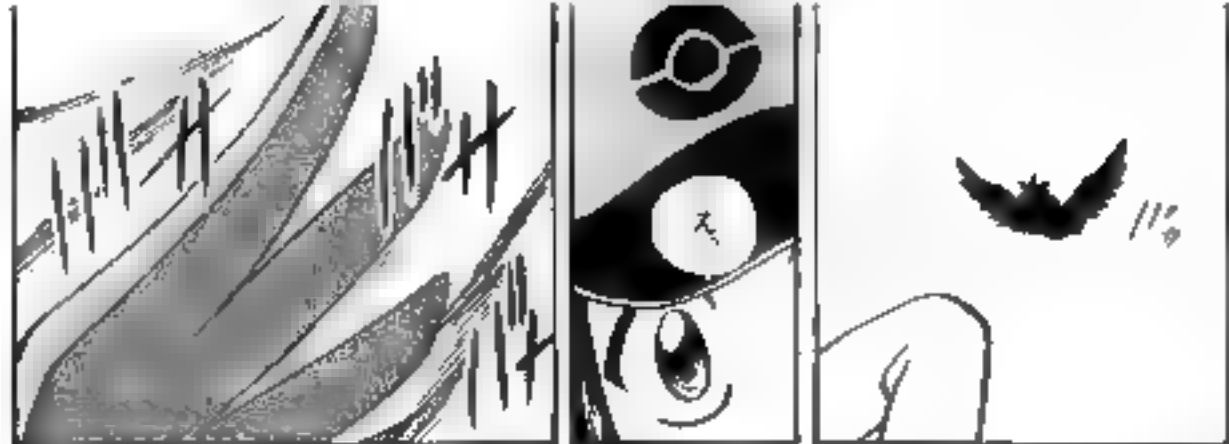
そういえばヒウンシティで会ったとき、ウォーグルがいたよね。

どうしたの? 今どこ?
うるせーなー、社長に貸してるんだよ。

やだー!!
けっきょく、ホワイト社長なんだー!!
YOU 連絡しちゃいなよォ!「オレの悩みわかって～～」って!
だあああああ!!

ホンキ、ハラ立つぅ!!
ウォーの「ブレイブバード」で泣かしてやりてえ!!
あー、ウォーがここにいてくれれば!!

ウ、ウォー!!

ウォーなのか!?

あいさつは
いちおう・・・
「ただいま」て
いいのかな。
しゃ、
社長!!

ウォーを貸してくれてありがとう。
本当に助かったわ！

でも、もうだいじょうぶ！
アタシの手持ちもそろったし、

ひこうタイプも手に入って、これならブラックくんにウォーを返せるかなって。

す、すげえ！すげえじゃないか!!みんな社長一人で!?
うん。

がんばったんだな…
社長…

うふ。
あとコレもね。

これでブラックくんといっしょだね。

や…、やられてる!?

チャンピオンが…、

アデクさんが…!!

ADVENTURE MAP

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#509
VSアーケオス
「超越(ちょうえつ)」

ア…アデクさんが、
やられてる…!?
だれに…。
!!
N…!!

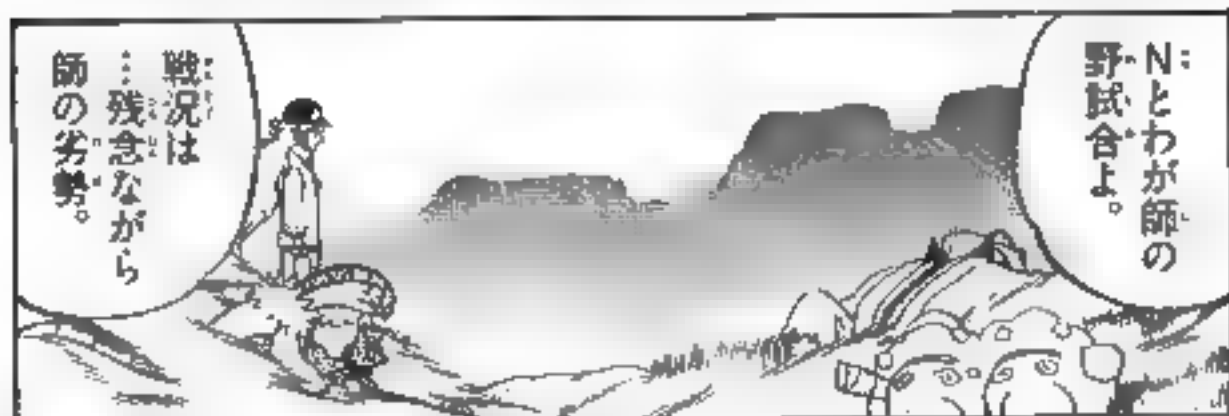
おまえたち!!

レンブさん!
なにが
起こってるんだ!?
ザザ!!
見てのとおり。

Nとわが師の
野試合よ。
戦況は
…残念ながら
師の劣勢。

野郎、また
卑怯なしかけ方
したんだろ!!

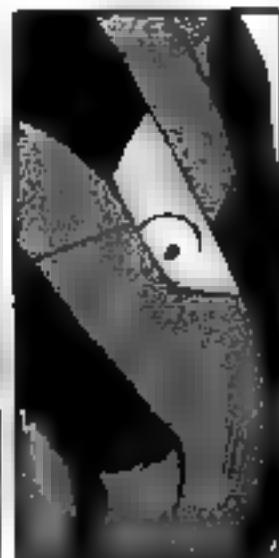
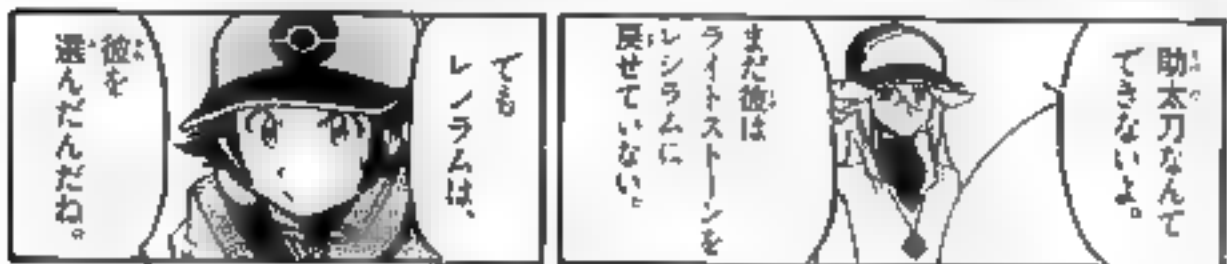
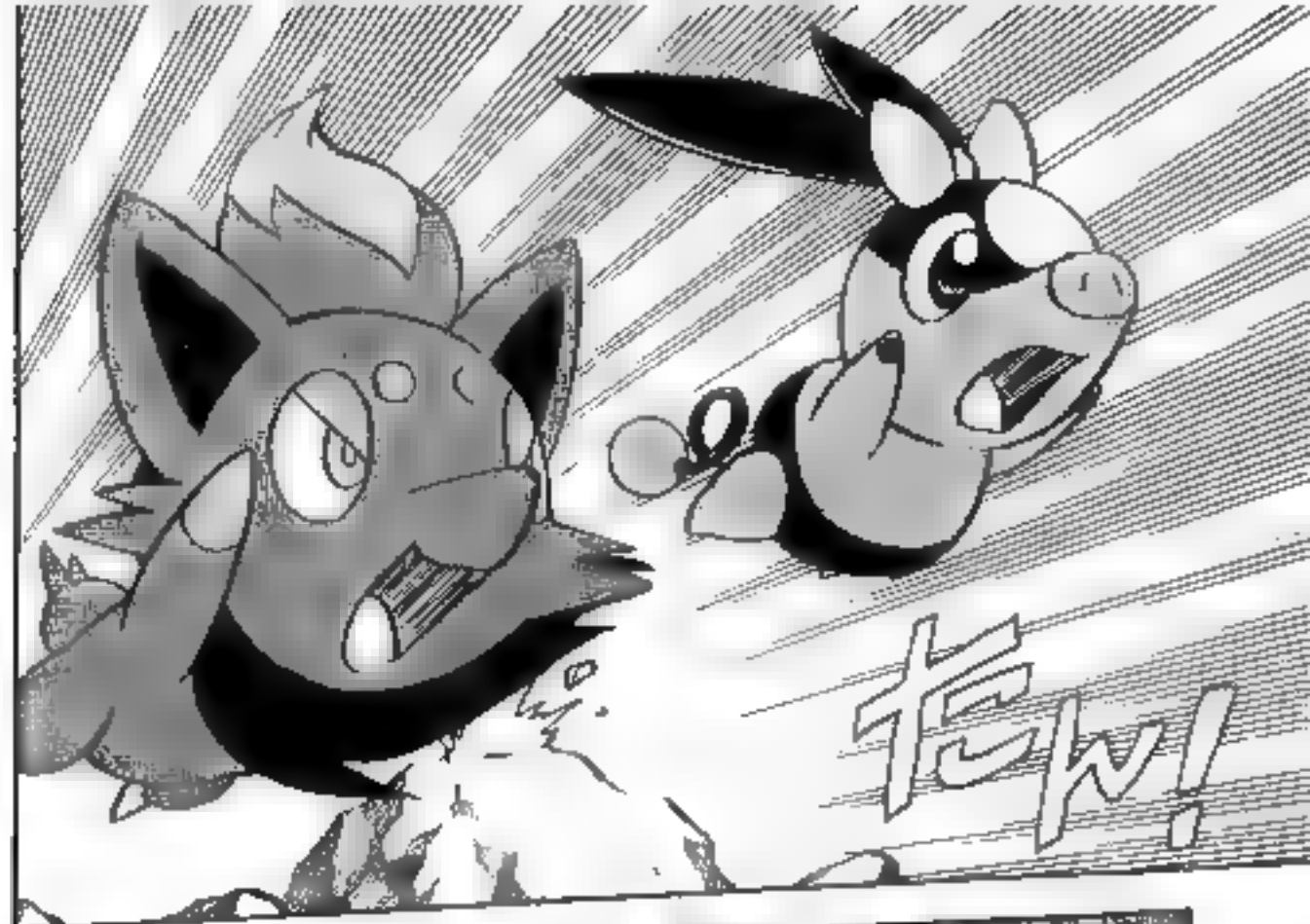
……。

おじいちゃん!!
だいじょうぶ!?
しっかりして!!
むむう…、
おお、アイリス!

そう騒ぐな。
ゾロアの技の
余波を
くらっただけだ。
若い頃なら
ヒョイヒョイと
かわせたんだが
年はとりたくないな。

これはNとわしの
ルールにのっとった
ポケモンバトル。
勝つ者がいれば
負ける者がいて当然。
心配せず見ておれ。

おじいちゃん!?
アイリスは
師・アデクと
ソウリュウの
シャガ市長をともに
おじいちゃんと呼び
慕っているのだ。

シャガおじいちゃんは、
あたしの
ドラゴン使いの才能を
見出してくれた人。
アデクおじいちゃんは、
あたしに「心」を
教えてくれた人。

そんな大事な
おじいちゃんを…!!

アギルダー!!
す、すごいスピード!!
2匹の姿を追いきれないわ!

"アシッドボム"。
相手を溶かす液体を吐き出す技。
アデクさん得意の戦法だ。
うむ。
4匹使用のダブルバトル。
師は残りアギルダー1匹。
Nは残り2匹、ゾロアと…、
アーケオスにかわって、
おそらくアレを。

黒い…
ドラゴン!?

ゼクロム!!
あいつはゼクロムだ!!

う…

あっ!

ライトストーンが反応してる!!

なんだ。
ライトストーンはキミが持ってたのか…。
おいおい、ブラック。
たしかにわしは劣勢だが、
助太刀は頼んどらんぞ。
助太刀なんてできないよ。
まだ彼はライトストーンをレシラムに戻せていない。
でもレシラムは、
彼を選んだんだね。
なぜかな？どうしてかな？
これも解けない数式だ。

それとね、
ボクの残りの1匹をゼクロムだと思ってるみたいだけどちがうよ。
おいで。

だん!

最後がゾロアとポカブだと!?

うん!レンブさん、

でもあの2匹の速さ、とんでもないよ!!

おじいちゃんのアギルダーよりも、

ずっとずっと速いなんて!!

うぬ、ならば…。
苦手な炎技を封じるため、
まずはポカブに攻撃を集中しろ!
…!!

ゾロアの幻影!!

アギルダー!!
すぐ手当てしてやる!!
こっちへ来い!!

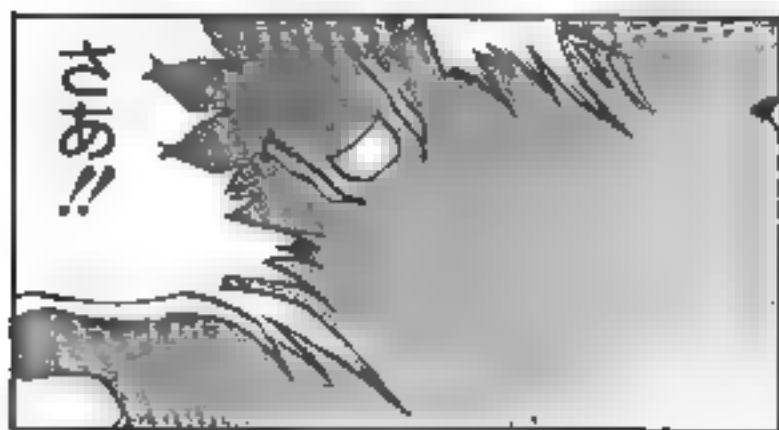
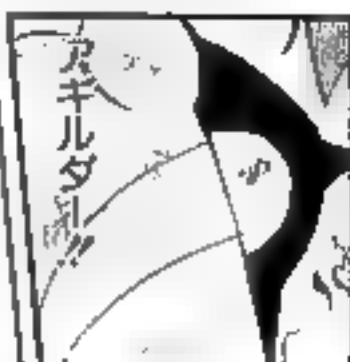
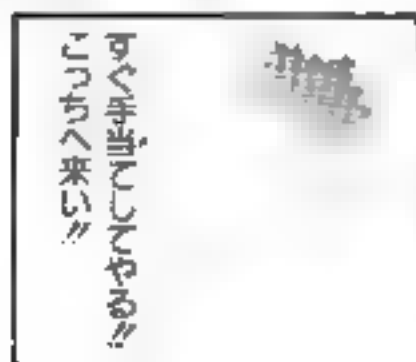
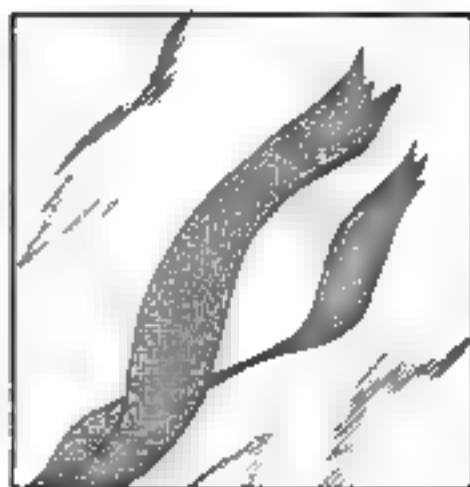
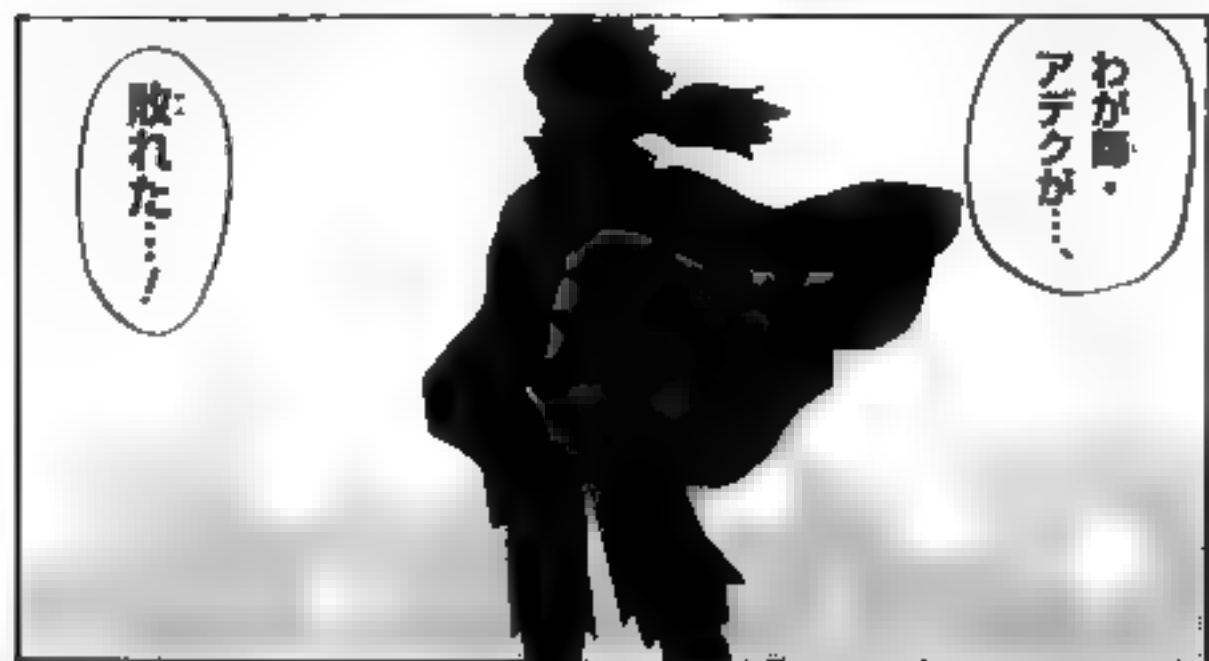
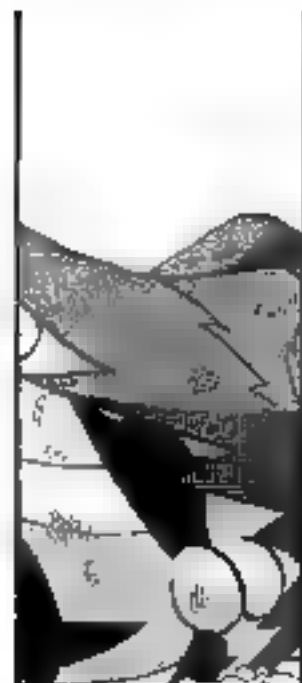
さあ!!

キラッ

よ…4匹…、

戦闘不能…。

わが師・アデクが…、

敗れた…！

ボクはチャンピオンを超えた。

ボールに
閉じこめられず、
身勝手な人間たちから
解放される。
それが正しい
ポケモンの生き方。
そう訴え続けた
プラズマ団の「理想」。

トレーナーの
思いのままに
するという、
そんなかかわり方の
頂点である
チャンピオンは、
今、ぶざまに
敗れた。

これでボクたちの
プラズマ団の
「理想」は
理解される。
人びとは
ポケモンを解放
してくれる。

父さん。
ポケモンたちが
幸せに暮らせる世界が
今、始まります。

すばらしかったよ。
キミがチャンピオンを超える姿。

あれは、キミの中からあふれ出た「声」が、
ボクに見せてくれたんだ。

キミもすばらしいと思わないか？
キミの大切なぶぶちゃんが才能を開花させたことを祝福できないかい？

では、あのポカブが？
はい。ライモンシティでアタシのもとを去り、Nについて行ったポケモンです。

やっぱり…、
芸能の仕事だけをさせたい？
ぶぶちゃんを返してほしいのかな？

…いいえ！

ぶぶちゃんにとって
バトルするのが
いいのか悪いのか!?
アタシ自身が
「ポケモンバトルなんて
したことありません」じゃ
なにも言えないと
思ったの。
それでアタシも
バトル修行に入った。

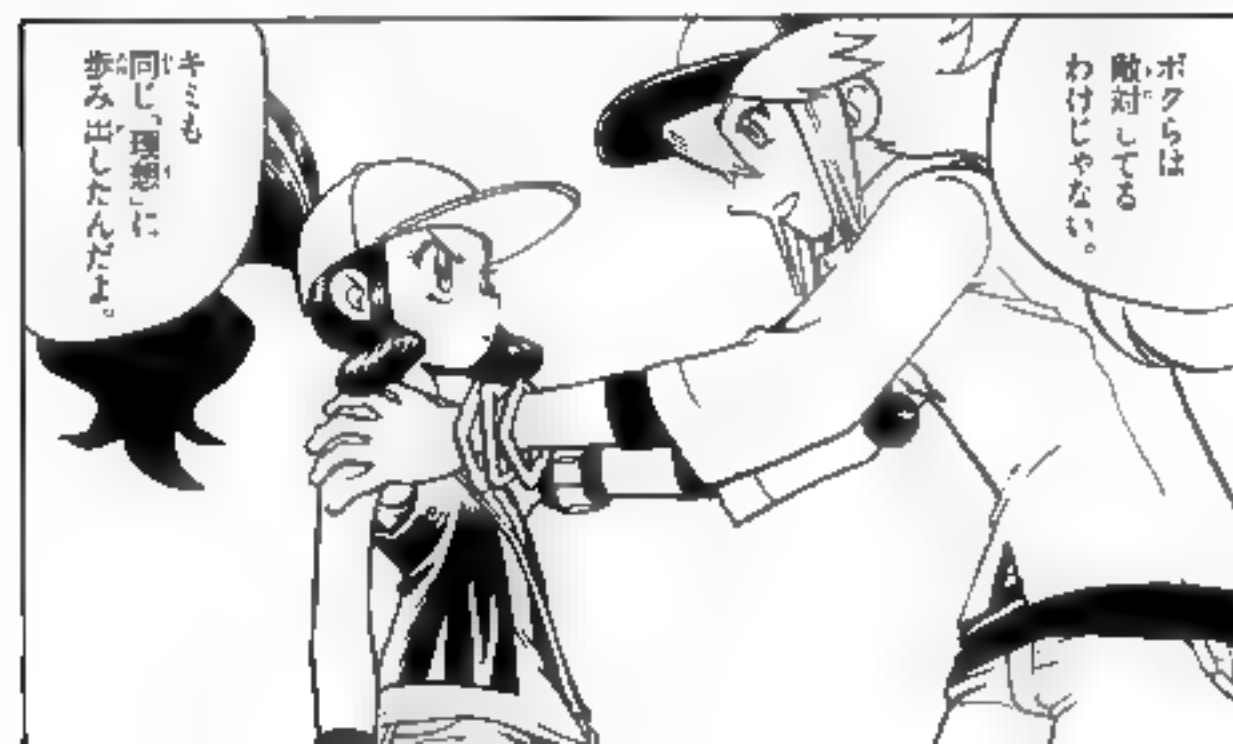
わかるよ。
あのときの
ジャノビー
ジャローダ、
そしてそこにいる
キミのポケモンたちを
見れば。

キミと過ごした時間、
経験、信頼関係。
キミも少しは
ポケモンの「声」が
聞こえるように
なったみたいだね。

ありがとう。
だから、
今は
ハッキリ
言える。

進むべき道は
ポケモン自身が
決めたらいい。
バトルを
続けたいのなら
続ければいい。

でも、もし
芸能の仕事を
したくなったのなら
いつでも
アタシのところへ
戻ってくればいいわ。

でもそのときは絶対にじゃまはさせない!!

全力で闘う!!

やめろおおおお!!

どうやら間にあったようだな。
アララギ博士!!

あれは…ダイケンキ!!
ミジュマルの最終進化形!!

Nを倒し、

プラズマ団の「城」の場所を聞きだすんだ!!

ADVENTURE MAP

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#510
VSダイケンキ
DAIKENKI
「必要(ひつよう)」

ヒーヒー、
もうイヤ〜。
山道なんて〜。
ほら、マコモ！
がんばれ！
そんなこと言ったって、
アララギ〜。
ゼー
ゼー
さっきの
連絡だと
この坂を
越えれば
父がいるはず。
!?

さあ呼吸を合わせろ、
ブラックくん、ホワイトくん!!
1!
2!!
3!!!

手をゆるめるな、ホワイトくん!アデクとの戦いで相手は疲れている!チャンスなんだ!!
ハ、ハイ!
ダイケンキ、アシガタナで攻めろ!!
ズザザ

草・水・炎
3匹の
最終進化形だね。

このダイケンキ、
わかるか?
わかるだろう?
わたしの研究所にいた
3匹のうちの
1匹だということが!

どういう
ことですか!?

草 水 炎の
3匹はもっとも
基本的な
研究対象だ。

新人トレーナーにあずけ
その成長度を
観察 記録したい。
そう思って
用意していた。

研究者であるわたしの娘も
同じように考えていた。

ならばわたしと娘
それぞれの研究所から
3匹を旅立たせれば
研究成果の比較も
できる。

つまり、草・水・炎という組合わせは、
わたしと娘、それぞれの研究所にひと組ずつ、
ふた組が用意されていたのだ。
そう！そうなのよ!!
アララギ博士！マコモさん!!
あとはわたしたちの求めに応じてくれる新人をつのるだけだった。
だが、その矢先、わたしの研究所で事件は起こった。
1年前の大雨の日……。

Nは
研究所に現れた。
そして
当たり前のように…。

１匹ははぐれ
１匹はＮについて行き、
もう１匹はわたしのもとに残った。

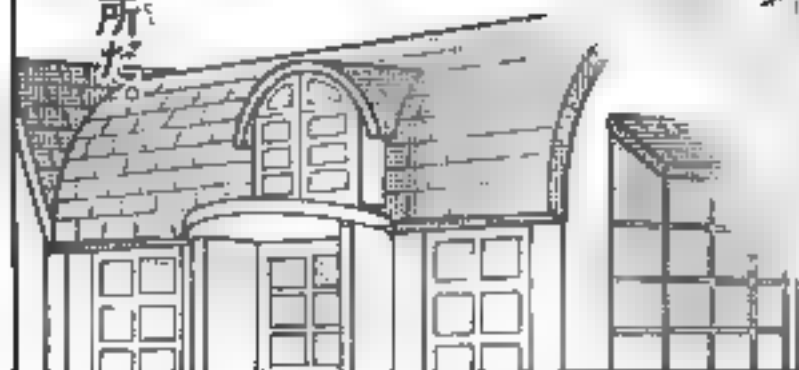
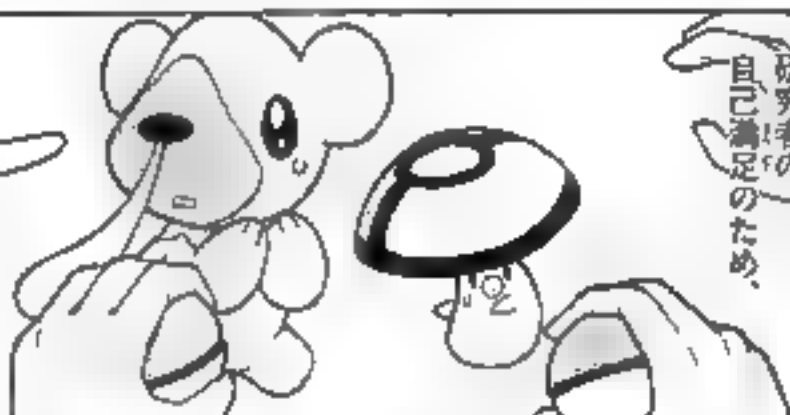
そこでわたしは、
その１匹を自分で育てたのだ。

アララギ博士……。

あなたの研究所からのポケモンの解放、

それがボクの王としての最初のつとめだった。

戴冠式を終えたボクは「城」を出て、イッシュ地方を見て歩いた。

ポケモンリーグと、
ポケモン研究所だ。

トレーナーの競争心のため、
研究者の自己満足のため、
ポケモンたちは勝手放題に捕獲され調べられムリヤリ戦わされる。

人びとの意識を変えなければ解決はできない。

だからまず、あなたのところにいた3匹を解放した。

ボクの「解放」を略奪というのなら、

あなたたちの行為だってポケモンから自由を略奪しているのにほかならない。

そして、暴れまわった
3匹を叱り
ポカブにカゼまで
ひかせた。

な、なんで
知ってんのよ!!

見てたんだよ、
このゾロアが
時に、少年に
姿を変えてね。

だから、
そんな3匹を、
自分でトレーナーに
手渡さず
配達させようと
したことだって
知ってる。

なってたとはいえ
朝晩はまだまだ
冷えるなあ。

ゆうべは
雨もふったし。

3匹を「用意」？
3匹を「配達」？
その行為がポケモンをモノ同然に考えている証拠じゃないか。

プラズマ団のアジトへ戻るってんなら、

オレも行くぜ!!

決まってるだろ!!
ジムリーダーたちを
返してもらう!!

力ずくでも
案内させる!!

そんなキミが、

ボクに勝てるのかい!?

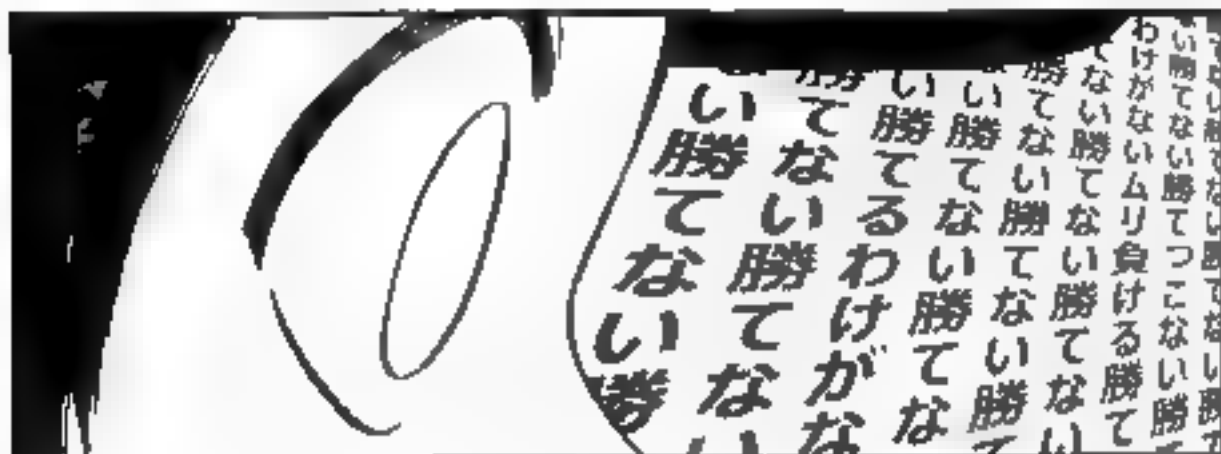
お、おい!
なにビビってんだよ!?

キミのポケモンたち、わかってるんだよ。
キミの指揮にしたがっても勝てない、バトルする意味はあるのかなって。

ふ…
ふざけんなっ!!

い勝てない勝てっこない勝
わけがないムリ負ける勝て
てない勝てない勝てない
勝てない勝てない勝てな
い勝てない勝てない勝て
い勝てるわけがな
てない勝てない勝てな
い勝てない勝

ムシャ!!

ほら、このこと一つとっても、キミがポケモンと心を通わせてないことがわかる。

ムンナのエサとなる
キミの「夢」、
おいしくないんだ。
味が
かわっちゃったんだ。
だからムンナは
キミの頭の中の「夢」、
もう食べたくないんだ。

これまでムンナは…、
「キミのそばにいればいつもエサにありつける」そう思ってついてきてたにすぎない。

キミもムンナをバトルに使えて、
なおかつ、たぐいまれな観察力と推理力も発揮できた。

キミとムンナの間にあったのはただのギブ&テイク。
「夢」というエサでつながっていただけだから…、

それがわき出てこなくなったんだったら、
ムンナはキミといっしょにいる必要がない。

もともと、

絆なんて
なかったんだ。

あのときから……、
はじめて
1番道路で
アイツがオレの頭に
くらいついた
ときから…、
ずっといっしょ
だったんだ。

オレはその
成長した姿を
思い描いて……、
いつかかっこいい
ムシャーナになると
思ったから
「ムシャ」って
名づけて、

ブラックくん!!

くっ…

父さん、
チャンピオンは
越えました。

かならずキミは
もう一度
ボクの前に
立ちはだかる。

レシラムとともに
英雄として

それから1ヶ週間、
だれの上にも等しく
残酷に時は過ぎ去る。

ポケモンリーグは
開会当日を
迎えた!!

頑固で不器用だが、

結果は出す男だ。

〈ポケットモンスタースペシャル第49巻おわり　第50巻へつづく〉

TO BE
CONTINUED

次巻予告!!!

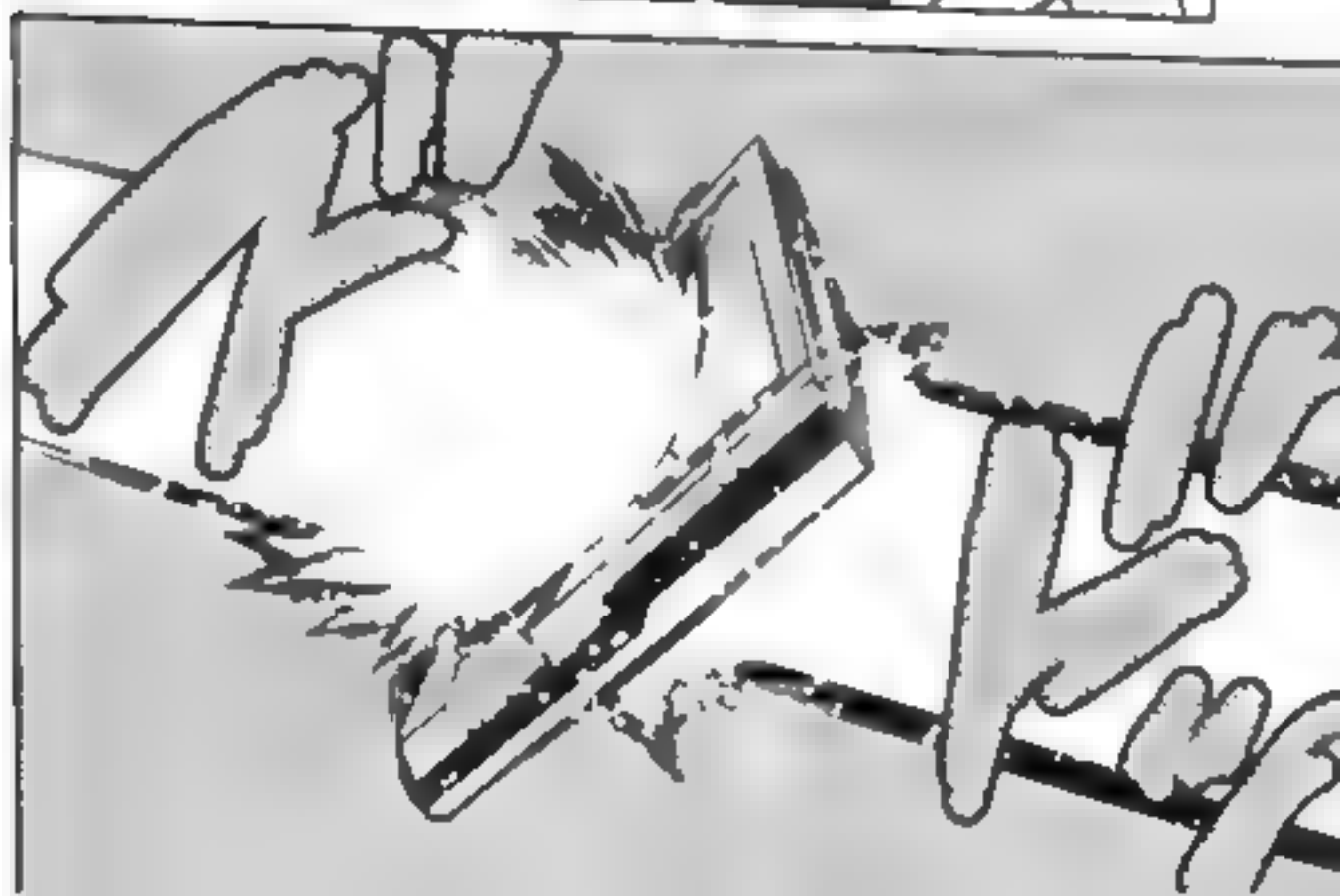
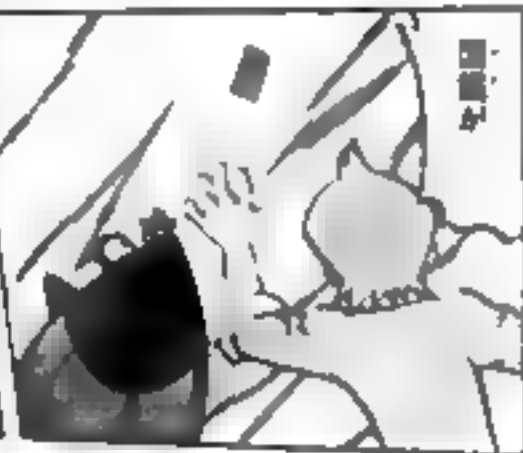
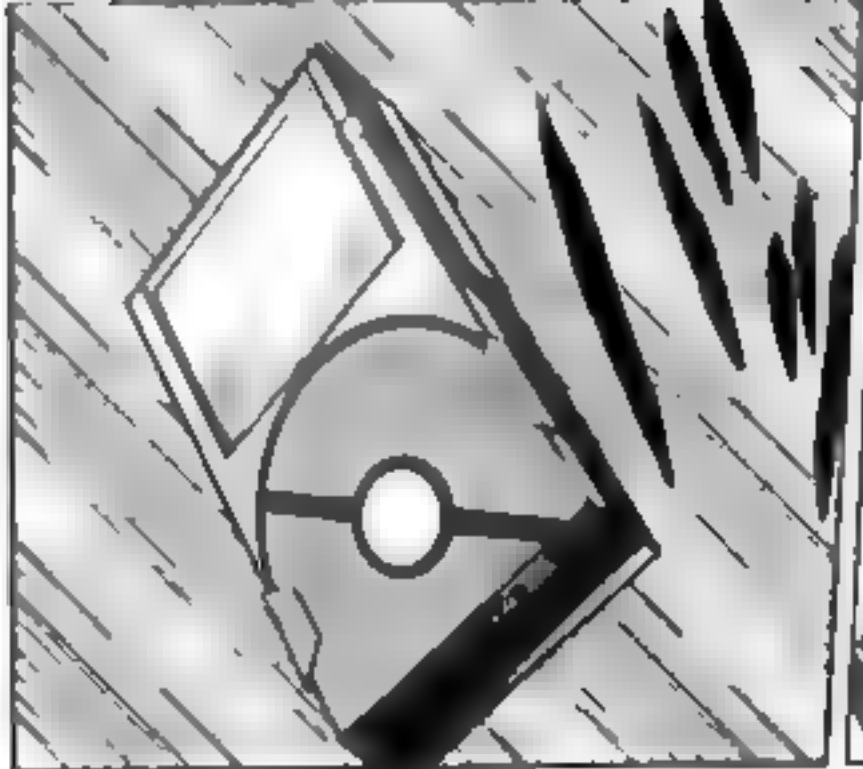
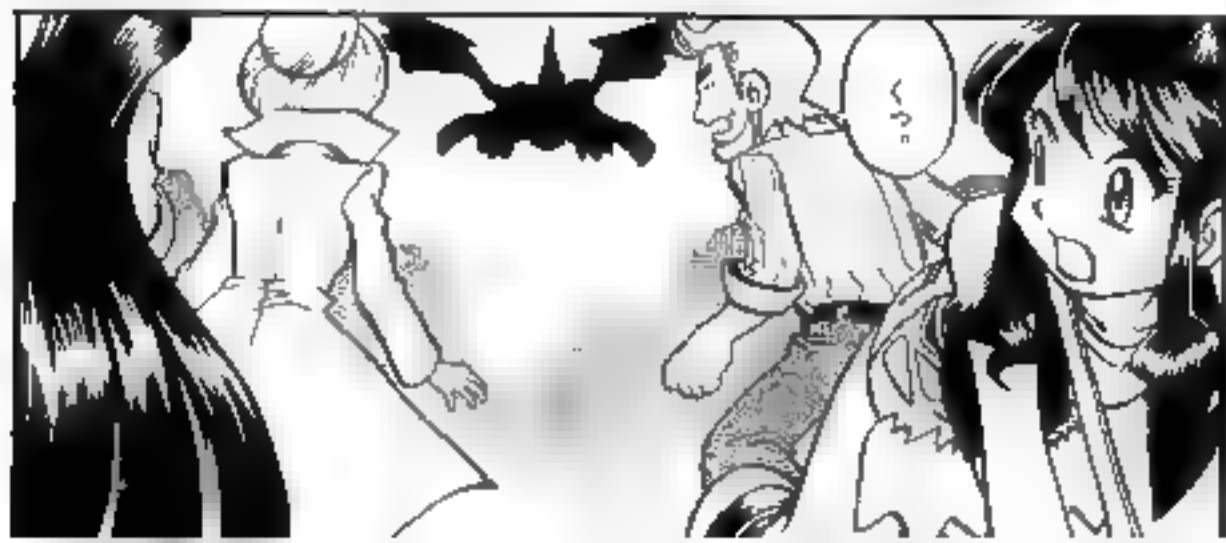
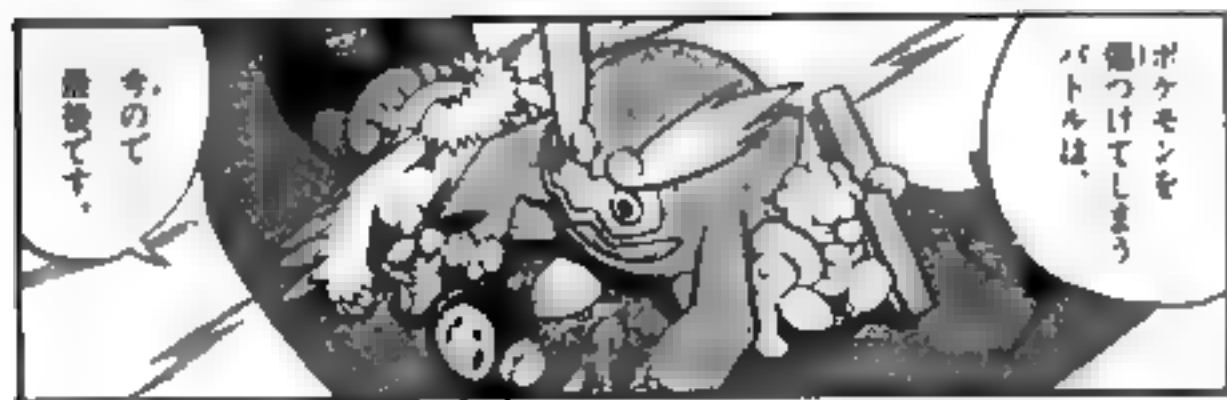
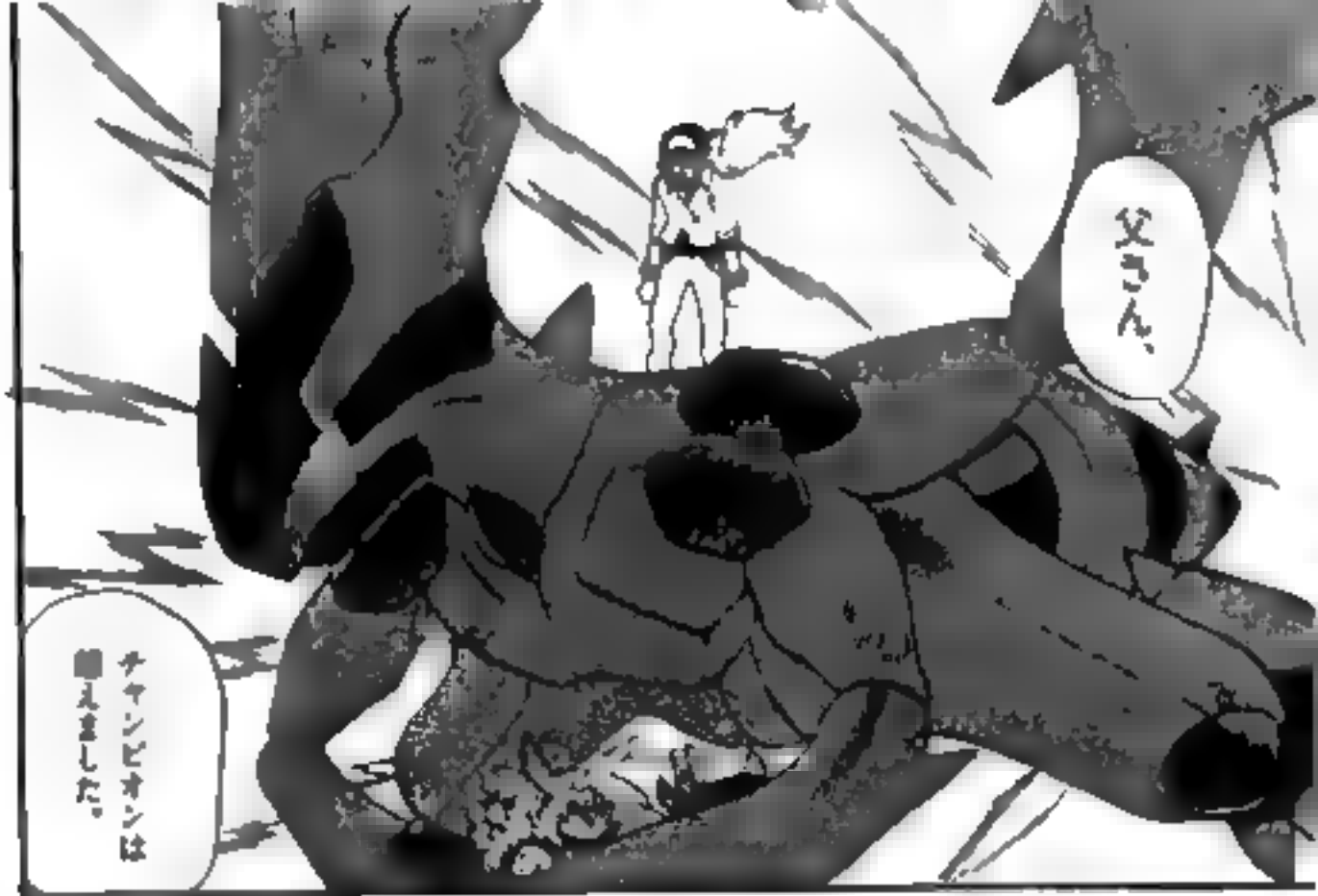
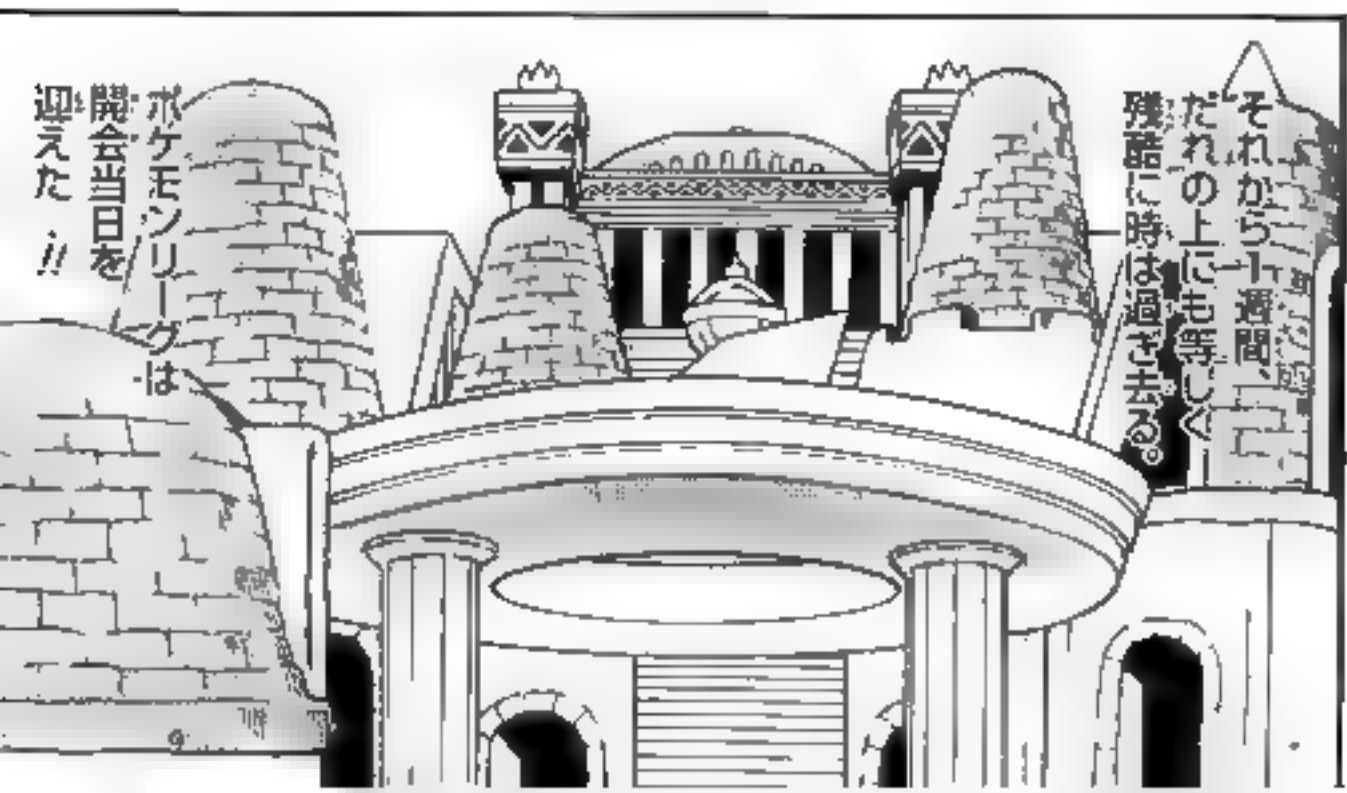
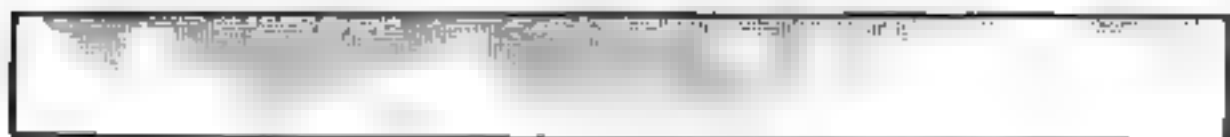
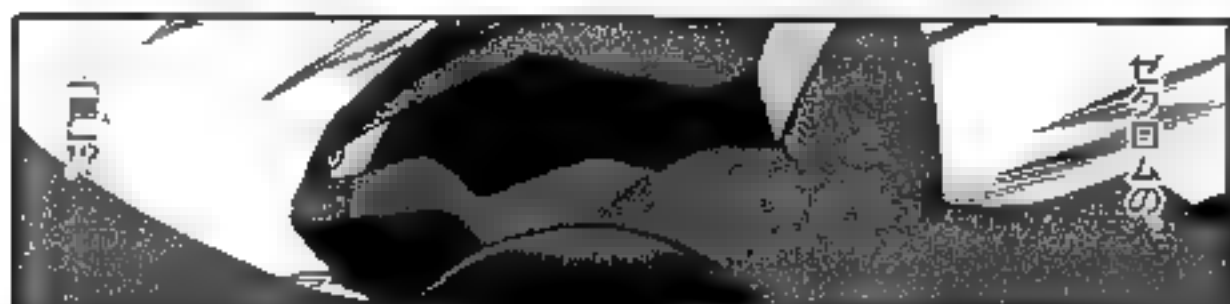
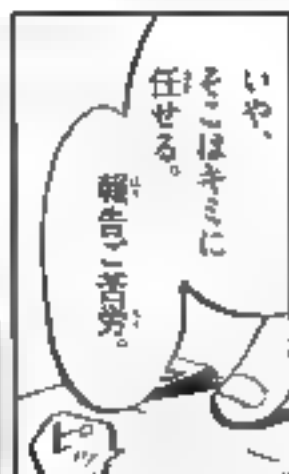
……そして文庫もできます。

この[illegible]も……。

『タ』『ス』『ケ』『テ』

タ

ケ

ス

テ

ついにベスト8が出そろいました!!

試合
開始!!
POCKET MONSTERS SP
50

『ゆめくいポケモン』と夢の世界の秘密!!…

ついにブラックのもとを去ってしまったムシャ(ムンナ)。Nはその原因を『絆のなさ』だと指摘するが…!? 果たして『ゆめくいポケモン』の秘密とは!? そして『夢の世界』とは…!?

【マコモ】プロフィール

サンヨウシティに研究室をかまえ、助手でもある妹のショウロと研究にいそしむ女性。アララギ(娘)博士とは大学時代からの友人だ

1 『ゆめのけむり』を入手せよ!!

—研究家マコモの取り組み—

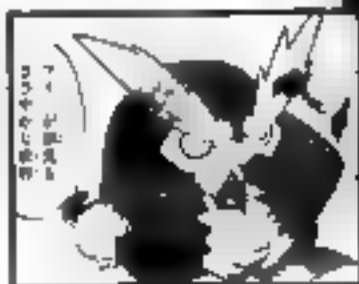
「ゆめのけむり」とは、ムンナが出す特殊な煙のことだという。夢について研究しているマコモは、かつてブラックのムシャ(ムンナ)の鼻からもれ出たそれを入手。自らの仮説を立証するための材料としたかったようだ。(44巻・第471話)

⬆⬇ムンナの鼻からうっすらと出る、楽しい夢を映すピンク色の気体を ちゃっかり試験管の中へ♪

2 『夢』は内面をうつす鏡…!!

—かいま見える心の片りん—

以前にも、ムシャ(ムンナ)の鼻からの煙が注目されたことはあった。その直前、ムシャはNの夢を食べてしまっていたため、煙にはNの夢が映り込んでいたのだ！ 幼いころの記憶と重ねてNが夢見る世界は、穏やかで安らかなものだった。(44巻・第468話)

ムシャが食ってたんだ。Nの夢を…。

➡注目しているブラックでさえ「考え方はちがうがアイツはいいヤツ」と肯定的にコメント。

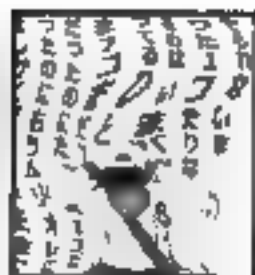
⬆夢の猛攻（ストーム）を託された重圧などで、リーグへ！という直球な気持ちが揺らぐ!? その変化により、夢の味も変質

3 『別離』の経緯
―エサとしての夢・その変化―

ムンナは夢が大きい人間に引き寄せられる性質を持っている。それはもちろんエサとしての夢を求めてのことだ。しかし今回、ブラックから離れていってしまったのは、なぜか。ブラックの夢が、揺るぎないものから不安を含んだものに変化してきたことはたしかだが……。（49巻第50話）

4 『ドリームワールド』
―存在の可能性―

マコモは「ポケモンも夢を見る」「描き出された夢はある場所で集まり、ひとつの空間を作る」との仮説を立てているようだ。さらには、そのエネルギーを使い、世界をつなぐ可能性をさぐる構想まであるらしい。実現化が待たれる！

⬅夢に含まれた人やポケモンの想い。そこはいろいろな力が集まる場所であるはずだ!!

ムシャーナという進化後の姿があると知り、それに合わせ「ムシャ」という愛称（ニックネーム）を付けていたブラック。しかし、その姿を見ることなく、両者は離れることになった……再会の時は来るのか!?

トビラ絵コレクション

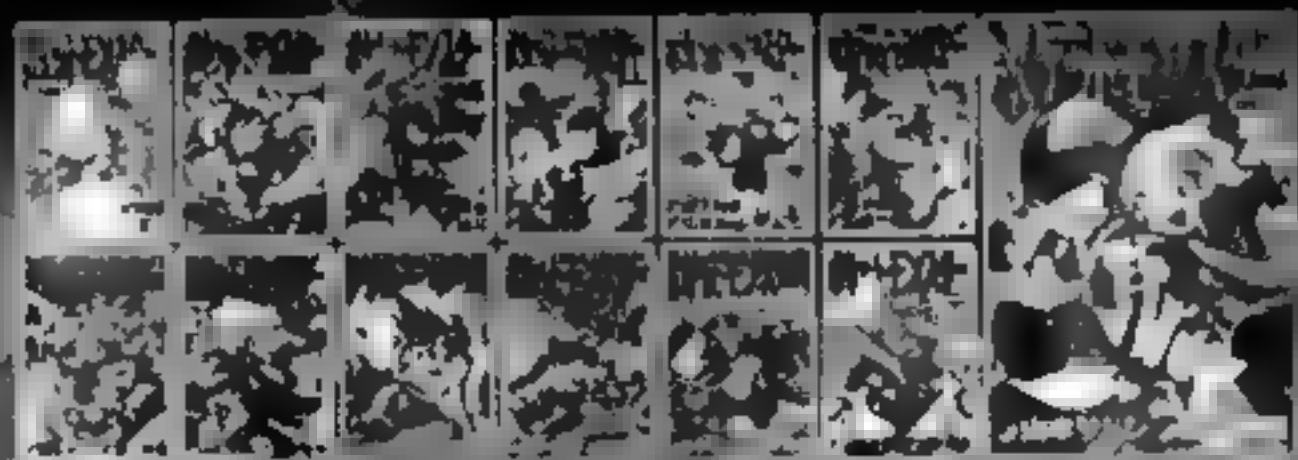
「ポケモンファン」「コロコロイチバン!」掲載時に描かれた、各話のトビラ絵を公開!! ブラックとホワイトの旅の軌跡を、迫力あるイラストで振り返ってみよう。

「コロコロイチバン!」
2012年4月号

『コロコロイチバン!』
2012年5月号

「コロコロイチバン!」
2012年6月号

「コロコロイチバン!」
2012年7月号

「ポケモンファン」
第23号

ポケモンファン』第24号

「コロコロイチバン!」
2012年8月号

壮大なるポケモンサーガ!!

超人気 発売中!!

ポケモン4コマ学園
まんが・山下たかひろ
『月刊コロコロイチバン!』で大好評連載中!!
※コロコロイチバン!は毎月21日ごろ発売です。
絶賛発売中!!
COROCORO COMICS
ポケモン4コマ学園 2
山下たかひろ
爆笑4コマギャグがてんこもり!!
定価:本体400円+税

てんとう虫コミックススペシャル　「ポケモンファン」「コロコロイチバン!」連載作品

ポケットモンスタースペシャル 49

2014年1月30日　初版　第1刷発行　（検印廃止）

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ
©Hidenori Kusaka　©Satoshi Yamamoto
©2014 Pokémon.
©1995-2014 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.
発行者　塚原伸郎
印刷所　三晃印刷株式会社

PRINTED IN JAPAN

発行所　(〒101-8001) 東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 編集 03(3230)5404
販売 03(5281)3556

株式会社 小学館

ISBN978-4-09-141699-5

本文デザイン／瀬川真由美・鈴木 冊・設楽 満
編集協力／長澤優美子・唐木田ひろみ　編集担当／菊池 徹・勝山健嗣